

**RICOH**

# WG-7

## 使用説明書

本製品のシリアル番号は、バッテリー／カードカバー内部に記載されています。

### 1 章 基礎知識

**お使いになる前に必ずお読みください。**

RICOH WG-7 の全体像を紹介しています。

### 2 章 準備

**はじめてお使いになるときは必ずお読みください。**

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも基本的な操作ができるようになります。

### 3 章～

**目的に応じて必要なときにお読みください。**

いろいろな撮影や再生機能のほか、カメラのカスタマイズ、パソコンを利用する方法などが記載されています。

**Model: R05020**

## お客様登録のお願い

このたびは、リコー製品をお買い求めいただきありがとうございます。  
ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願いいたします。

**<https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx>**

なお、ご登録いただいた方には、Eメール（ファームウェアなどのサポート情報）の配信を行っております。

## はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。

本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときにすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。

ご使用にあたっては、カメラのファームウェアを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

最新のファームウェアの詳細については、ファームウェアダウンロードページをご参照ください。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp>

株式会社リコー

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準する限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようしてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ テレビやラジオなどからできるだけ離す</li><li>・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える</li><li>・ コンセントを別にする</li></ul> 〈電波障害自主規制について〉 この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© RICOH COMPANY, LTD. 2021

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧ください。

## 商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Skype は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Skype の名称、これに関係する商標は、Skype またはその関連事業体の商標です。
- Mac、macOS、OS X は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- FlashAir は、東芝メモリ株式会社の商標です。
- USB Type-C は USB Implementers Forum の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI ライセンシングの商標または登録商標です。
- Facebook Messenger は Facebook, Inc. の商標または登録商標です。
- Google Meet は、Google Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Cisco WebEx は、Cisco Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Zoom は、Zoom Video Communications, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。  
会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本製品は株式会社リコーがデザイン制作したリコー RT Font を使用しています。

### AVC Patent Portfolio License について

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合  
に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものを AVC ビデオといいます）
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することについて  
ライセンスを受けている供給者から入手した AVC ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。




詳細情報につきましては、MPEG LA, LLC から取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

## 安全上のご注意

### 表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



🚫 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

🚫 の中に具体的な禁止内容が描かれています。

● 表示例

🚫 意味：接触禁止    🚫 意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

### 危険



● カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。



● 電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。



● 電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。



● 電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。



● 外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。

## 警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。



- 万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。



- 画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- ・ 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- ・ 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。



- 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。
- ・ この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- ・ 金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- ・ 電子レンジや高压容器に入れないでください。
- ・ 使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、直ちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。



- 電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。
- ・ AC コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。布などに包んで使用しないでください。



●この製品で使用している電池やSDメモリーカードを誤って飲み込むことがないように、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。ただちに医師と相談してください。



●この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。



●落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店または修理受付センターに連絡してください。



●台所などの湯煙があたるところや湿気のあるところで使用するとき、カメラの内部を濡らさないよう注意してください。火災や感電の原因となります。



●引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。

●航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。



●電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

●家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用のACアダプターをご利用ください。指定以外のACアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。



●海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器やACアダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

## 注意



●電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。(せっけんは使用しないでください)

また、液漏れが起こったときは、液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。



●カメラの内部を濡らさないでください。また、濡れた手で操作するときは、カメラの内部を濡らさないよう注意して操作してください。感電の原因となります。



●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。

別売りに  
ついて

別売りの品をお使いになる際には、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。



# もくじ

はじめに.....	1
安全上のご注意.....	3
<b>1 基礎知識</b> .....	<b>11</b>
同梱品を確認しましょう.....	11
各部の名称と機能.....	12
ボタン・ダイヤル.....	14
画像モニターの表示.....	16
撮影画面.....	16
再生画面.....	17
画面表示の切り替え.....	18
機能の設定方法.....	19
ボタンで設定する.....	19
メニューで設定する.....	22
メニュー一覧.....	24
📷 撮影設定メニュー.....	24
🎬 動画メニュー.....	25
▶ 再生設定メニュー.....	26
Ⓒ カスタマイズメニュー.....	27
🔧 セットアップメニュー.....	29
<b>2 準備しましょう</b> .....	<b>31</b>
バッテリーとメモリーカードのセット.....	31
バッテリーとメモリーカードをセットする.....	31
バッテリーを充電する.....	33
初期設定.....	35
電源を入れる.....	35
言語と日時を設定する.....	36
メモリーカードを初期化する.....	37
撮影のキホン.....	38
オートで撮影する.....	38
撮影した画像を確認する.....	39

### 3 撮影する 40

静止画を撮影する.....	40
撮影モードを設定する.....	40
露出を補正する.....	44
動画を撮影する.....	45
動画を再生する.....	47
Web カメラとして利用する.....	48
カメラを設置する.....	48
フォーカスモードを設定する.....	50
手でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）.....	52
露出を設定する.....	53
測光方式を選択する.....	53
ISO 感度を設定する.....	54
フラッシュを使用する.....	55
ホワイトバランスを設定する.....	57
ホワイトバランスを手動で設定する.....	58
ドライブモードを設定する.....	59
セルフタイマーで撮影する.....	59
連続して撮影する.....	60
リモコンで撮影する.....	61
露出を変化させて撮影する.....	62
記録方法を設定する.....	63
静止画の記録設定.....	63
動画の記録設定.....	63
画像仕上と補正の設定.....	64
写真の雰囲気を決めて撮影する（画像仕上）.....	64
シャープネス／彩度／調色／コントラストを設定する.....	65
日付を写し込む.....	65
解像感を高めて撮影する.....	65
階調を補正する（D-Range 設定）.....	66
手ぶれを補正する.....	66

### 4 いろいろな再生と編集 67

再生方法を変更する.....	67
複数画像を表示する.....	67
連続して再生する（スライドショー）.....	68
画像を回転して表示する.....	69
AV 機器と接続する.....	70

ファイルを整理する .....	71
消去する .....	71
画像をコピーする .....	72
プロテクトを設定する .....	73
画像をパソコンにコピーする .....	74
画像を加工・編集する .....	75
画像サイズを変更する .....	75
フィルターで加工する .....	77
動画を編集する .....	78
赤目を補正する .....	80

## **5 設定を変更する** **81**

よく使う設定値を登録する .....	81
モードダイヤルを利用する .....	81
設定をファイルに保存する .....	82
ボタンをカスタマイズする .....	83
動画ボタンに機能を登録する .....	83
グリーンボタンの機能を変更する .....	84
表示と音の設定 .....	85
起動画面を設定する .....	85
起動時／終了時の表示情報を設定する .....	85
ライブビューの表示を設定する .....	85
画像モニターの明るさを設定する .....	86
ランプを設定する .....	86
音量を設定する .....	86
省電力の設定 .....	87
自動的に電源をオフにする .....	87
画像モニターの輝度を落とす .....	87
GPS の設定 .....	89
GPS 情報を表示する .....	90
日時設定を自動補正する .....	91
移動経路を記録する .....	91
方位情報を設定する .....	93
GPS 情報を写し込む .....	94
画像管理に関する設定 .....	95
フォルダー／ファイルを設定する .....	95
著作権情報を設定する .....	98
目的地の日時を記録する .....	100

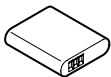
別売り品の取り付け .....	101
ワイドコンバージョンレンズ .....	101
AC アダプター .....	102
困ったときは .....	103
電源 .....	103
撮影 .....	104
再生／削除 .....	107
その他 .....	108
エラーメッセージ .....	109
主な仕様 .....	111
カメラ本体 .....	111
USB 電源アダプター AC-U1 .....	114
充電式バッテリー DB-110 .....	114
記録可能枚数／時間 .....	115
動作環境 .....	116
海外でお使いのときは .....	117
使用上のご注意 .....	118
お手入れと使用／保管場所について .....	121
アフターサービスについて .....	123
索引 .....	124
ギャラリー・ショールーム .....	128
フォトスクール・写真クラブ .....	128

## 同梱品を確認しましょう

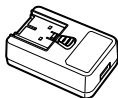
パッケージを開いたら同梱品を確認してください。



RICOH WG-7



充電式バッテリー (DB-110)



USB 電源アダプター (AC-U1)



電源プラグ



マクロスタンド (O-MS3)

- USB ケーブル (I-USB173)
- ハンドストラップ (O-ST104)
- 使用説明書 (本書)
- 防水についての注意
- 保証書



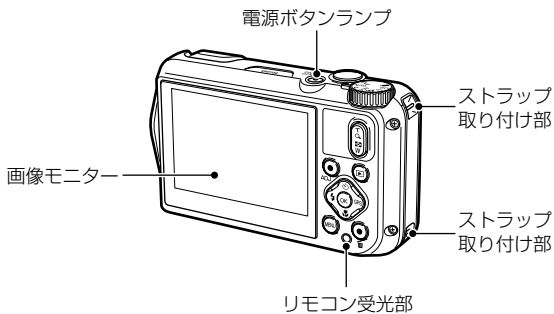
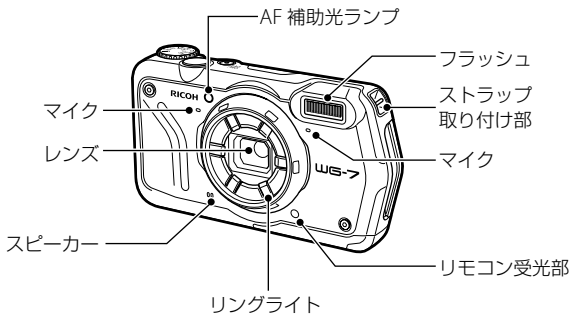
### マクロスタンド

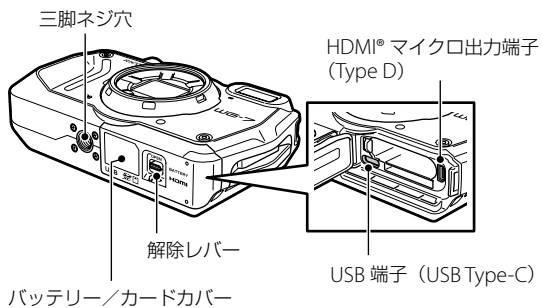
- ・ レンズ部分にねじ込んで取り付けて、被写体との距離を 1cm に固定します。デジタル顕微鏡モードなどで使用します。(p.40)
- ・ マクロスタンドを取り付けたときは、被写体によってはピントが合いにくいことがあります。

# 各部の名称と機能

1

基礎知識

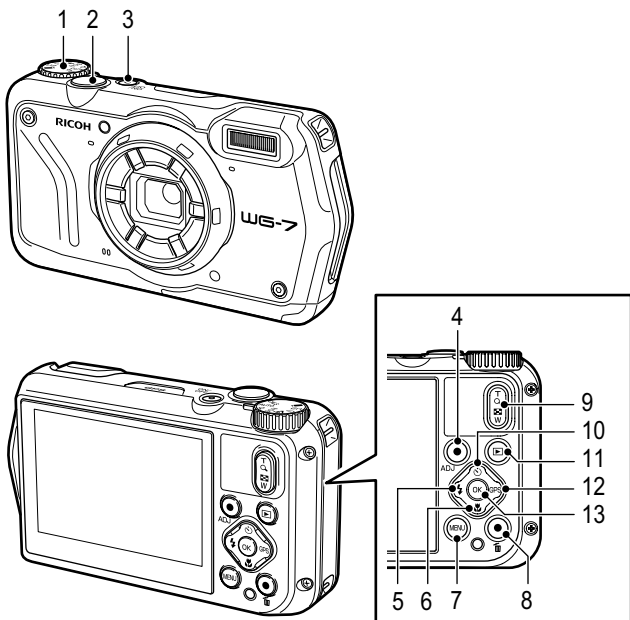




## ボタン・ダイヤル

ボタンとダイヤルの機能を説明します。

本書では ( ) 内のアイコンで説明しています。



### 1 モードダイヤル

撮影モードを切り替えます。  
(p.40)

### 2 シャッターボタン (SHUTTER)

画像を撮影します。  
半押しで AF が作動します。  
(p.38)

### 3 電源ボタン

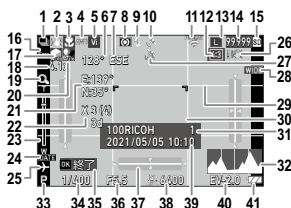
電源のオン/オフを切り替えます。  
(p.35)



- 4 動画 / ADJ ボタン**  
静止画モードのときに、動画の撮影開始 / 終了を行います。(p.45)  
ボタンに ADJ モードを登録したときは、機能を簡単に呼び出すことができます。(p.20)
- 5 フラッシュ / 左ボタン (L) / ◀**  
フラッシュモードを切り替えます。(p.55)  
項目を選択中はカーソルを左に移動します。
- 6 フォーカス / 下ボタン (D) / ▼**  
フォーカスモードを設定します。(p.50)  
項目を選択中はカーソルを下に移動します。
- 7 MENU ボタン (MENU)**  
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1 つ前の画面に戻ります。(p.22)
- 8 グリーン / 消去ボタン (G) / 〇**  
グリーンモードで撮影を行います。(p.41)  
ボタンに機能を登録したときは、登録した機能を呼び出します。(p.21)  
再生モードでは画像を消去します。(p.39)
- 9 ズームボタン (Q) (T) / ㊄ (W)**  
望遠 / 広角を切り替えます。(p.38)
- 10 ドライブ / 上ボタン (M) / ▲**  
ドライブモードを設定します。(p.59)  
項目を選択中はカーソルを上に移動します。
- 11 再生ボタン (R)**  
撮影モード / 再生モードを切り替えます。(p.39)
- 12 GPS / 右ボタン (GPS) / ▶**  
長押しで、GPS 機能のオン / オフを切り替えます。(p.90)  
項目を選択中はカーソルを右に移動します。
- 13 OK ボタン (OK)**  
撮影画面 / 再生画面の表示情報を切り替えます。(p.18)  
機能の設定中は、選択項目を決定します。

# 画像モニターの表示

## 撮影画面



静止画モード



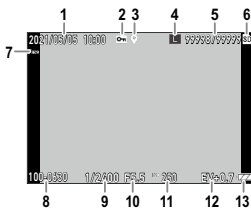
動画モード

- |    |                           |    |                              |
|----|---------------------------|----|------------------------------|
| 1  | ドライブモード (p.59)            | 21 | GPS 情報 (p.90)                |
| 2  | 手ぶれ補正/<br>Movie SR (p.66) | 22 | GPS 測位品質                     |
| 3  | フォーカスモード (p.50)           | 23 | ズームバー／フォーカスバー<br>(p.38、p.52) |
| 4  | ホワイトバランス (p.57)           | 24 | 日付写し込み (p.65)                |
| 5  | 画像仕上 (p.64)               | 25 | ワールドタイム (p.100)              |
| 6  | 電子コンパス情報 (p.93)           | 26 | 手ぶれ警告                        |
| 7  | 電子コンパス方位数値                | 27 | GPS ロック (p.91)               |
| 8  | 測光方式 (p.53)               | 28 | コンバージョンレンズ<br>(p.101)        |
| 9  | フラッシュモード (p.55)           | 29 | グリッド (p.85)                  |
| 10 | GPS 受信状態 (p.90)           | 30 | フォーカスフレーム                    |
| 11 | FlashAir 通信状態 (p.32)      | 31 | 保存先フォルダー名 (p.95)<br>／ファイル数   |
| 12 | アスペクト比 (p.63)             | 32 | ヒストグラム                       |
| 13 | 記録サイズ (p.63)              | 33 | 撮影モード (p.40)                 |
| 14 | 残り記録枚数                    | 34 | シャッター速度                      |
| 15 | 記録先 (p.32)                | 35 | 操作ガイド                        |
| 16 | 顔検出 (p.51)                | 36 | 絞り値                          |
| 17 | ハイライト補正 (p.66)            | 37 | 電子水準器 (p.85)                 |
| 18 | ズーム倍率 (p.38)              | 38 | ISO 感度 (p.53)                |
| 19 | デジタルズーム (p.39)            |    |                              |
| 20 | シャドー補正 (p.66)             |    |                              |

- 39 日時 (p.36)
- 40 露出補正 (p.44)
- 41 バッテリー状態 (p.17)

- 42 動画記録中
- 43 記録時間/残り記録時間

## 再生画面



静止画モード



動画モード

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 撮影日時</li> <li>2 プロテクト (p.73)</li> <li>3 GPS 情報 (p.90)</li> <li>4 記録サイズ (p.63)</li> <li>5 再生ファイル数/総ファイル数</li> <li>6 再生元</li> <li>7 顔検出 (p.51)</li> <li>8 フォルダー/ファイル番号 (p.95)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>9 シャッター速度</li> <li>10 絞り値</li> <li>11 ISO 感度</li> <li>12 露出補正</li> <li>13 バッテリー状態 (p.17)</li> <li>14 記録時間/経過時間</li> <li>15 操作ガイド</li> </ul> |
|---|--|

## バッテリー状態

バッテリーの残量によってアイコンの表示が変わります。

	残量が十分あります。
	残量が減り始めました。
	残量がわずかになりました。充電してください。
	まもなく電源が切れます。
	バッテリーが異常です。

## 画面表示の切り替え

**OK** を押して、表示する情報を切り替えることができます。

### 撮影モード

撮影画面で表示情報を切り替えることができます。

標準情報表示	撮影設定や電子水準器などを表示します。
詳細情報表示	標準情報とコンパス、GPS 情報を表示します。
グリッド表示	グリッドが表示されます。
情報表示なし	測距時に AF 枠が表示されます。
画像モニターオフ	<b>SHUTTER</b> 半押し時のみ、AF 枠やライブビューを表示します。



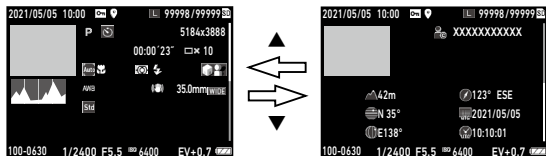
#### メモ

- ・グリッドの種類は、**C** メニュー [グリッドガイド表示設定] で選択できます。(p.85)

### 再生モード

1 画像表示のときに、「標準情報表示」「詳細情報表示」「情報表示なし」に切り替えることができます。

「詳細情報表示」では、▲▼ でページを切り替えます。



#### メモ

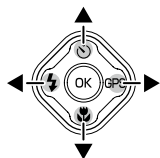
- ・静止画と動画では、表示内容が異なります。

# 機能の設定方法

## ボタンで設定する

### ダイレクトキーで設定する

撮影モードで ▲▼◀▶ を押すと、すぐに設定ができます。以下の機能が実行できます。



▲ (📷)	ドライブモード (p.59)
▼ (🌿)	フォーカスモード (p.50)
◀ (🔋)	フラッシュモード (p.55)
▶ (GPS) 長押し	GPS オン/オフ (p.90)



### メモ

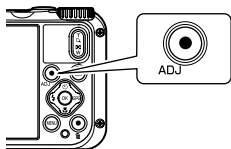
- 上記の機能は、**MENU** を押してメニューから設定することもできます。

## ADJ モードで設定する

動画ボタンの機能を **C** メニュー [ADJ ボタン設定 1] ~ [ADJ ボタン設定 5] で変更すると、登録された機能が簡単に呼び出せます。  
(p.83)

**1** **C** メニュー [動画ボタン] を [OFF] に設定する  
ADJ モードが有効になります。

**2** 撮影モードで動画ボタンを押す  
ADJ モードになり、登録されている機能のアイコンが表示されます。



**3** **◀▶** で機能を選択する  
登録した 5 つの機能が選択できます。

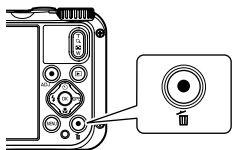


**4** **OK** を押す  
選択した機能が設定され、撮影できる状態になります。

- 注意** -----
- ・動画ボタンは、初期設定では動画の撮影開始/終了を行うボタンとして機能します。動画ボタンで動画の撮影を行う場合は、**C** メニュー [動画ボタン] を [ON] に設定します。(p.45)

## グリーンボタンで設定する

撮影モードでグリーンボタンを押すと、登録されている機能が実行できます。  
初期設定では [グリーン] が動作し、グリーンモードで撮影ができます。(p.41)



### メモ

- ・グリーンボタンの機能は、**C** メニュー [グリーンボタン] で変更することができます。(p.84)

## メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定します。

1

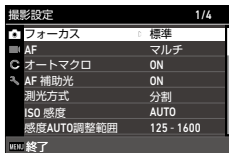
基礎知識






### 1 MENU を押す

メニューが表示されます。

カメラの状態によって表示されるメニューが異なります。

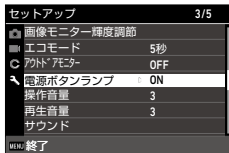
### 2 メニューの種類を変更するときは、 ◀を押してから ▲▼で切り替える



	撮影設定メニュー (p.24) 撮影モードのときだけ表示されます。
	動画メニュー (p.25) 撮影モードのときだけ表示されます。
	再生設定メニュー (p.26) 再生モードのときだけ表示されます。
	カスタマイズメニュー (p.27)
	セットアップメニュー (p.29)

### 3 ▶を押す

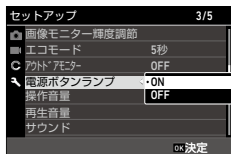
### 4 ▲▼で機能を選択し、設定する機能が見つかったら、▶を押す 選択した機能の設定値が表示されます。





5 ▲▼で設定値を選択し、OKを押す  
手順4の画面に戻ります。

MENUを押すと、1つ前の画面に戻ります。  
設定が終わったらMENUを何回か押して、  
元の画面に戻します。



## メモ

- MENUを押すと、メニューまたはメニューの先頭の画面が表示されます。直前に操作したメニュー画面を最初に表示したいときは、メニュー [カーソル位置保持] を [ON] に設定します。
- 設定した値は、電源を切っても保存されています。設定内容を初期値に戻すときは、メニュー [初期化設定] で初期化するメニューを選択し、メニュー [設定初期化] で初期化を実行します。

## メニュー一覧

以下のメニューがあります。(下線・[ ] は初期設定)

1

### 📷 撮影設定メニュー

基礎知識

フォーカス	標準、マクロ、1cm マクロ、PF、無限遠、MF	p.50
AF	マルチ、スポット、追尾	p.51
オートマクロ	<u>ON</u> 、OFF	p.50
AF 補助光	<u>ON</u> 、OFF	p.51
測光方式	分割、中央、スポット	p.53
ISO 感度	AUTO、125 ~ 6400	p.54
感度 AUTO 調整範囲	125 - 200、125 - 400、125 - 800、 <u>125 - 1600</u> 、125 - 3200、125 - 6400	
露出補正	-2.0 ~ +2.0	p.44
フラッシュモード	オート、発光禁止、強制発光、オート + 赤目、強制 + 赤目、リングライト	p.55
ホワイトバランス	オート WB、太陽光、日陰、曇天、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、電球色蛍光灯、白熱灯、リングライト、マニュアル WB	p.57
手ぶれ補正	ON、 <u>OFF</u>	p.66
顔検出	<u>ON</u> 、スマイル、アシスト、アシスト + スマイル、OFF	p.51
まばたき検出	<u>ON</u> 、OFF	p.38
デジタルズーム	<u>ON</u> 、OFF	p.39
ドライブモード	<u>OFF</u> 、セルフタイマー、連続撮影、高速連写、M 連写、S 連写、リモコン、オートブラケット	p.59

リングライト	選択：全灯、右、左、上、下、OFF 明るさ：1～9 [5] 点灯時間：常時 ON、SH 連動 10s、SH 連動 20s、SH 連動 30s、SH 連動 60s	p.56
記録サイズ	L、M、S、XS、VGA	p.63
アスペクト比	4:3、3:2、1:1	
画質	☆☆☆、☆☆、☆	
画像仕上	鮮やか、ナチュラル、雅（MIYABI）、リバーサル、モノトーン	
D-Range 設定	ハイライト補正：オート、OFF シャドー補正：オート、OFF	p.66
シャープネス	ソフト、標準、ハード	p.65
彩度	弱、標準、強	
調色	青、白黒、セピア	
コントラスト	弱、標準、強	
日付写し込み	日付、日付 & 時刻、時刻、OFF	p.65
超解像	ON、OFF	p.65

## ■(動画メニュー

記録サイズ	4K 30fps、FullHD 30fps、HD 60fps、HD 30fps	p.63
HDR	ON、OFF	
マイク	ON、OFF	
風切音低減	ON、OFF	
Movie SR	ON、OFF	p.66
Movie SR+	ON、OFF	

## 再生設定メニュー

画像コピー	内蔵メモリー >>>SD カード、SD カード >>> 内蔵メモリー	p.72
プロテクト	1 ファイル、複数選択、全ファイル選択、全ファイル解除	p.73
回転	正位置、左 90° 回転、180° 回転、右 90° 回転	p.69
スライドショー	表示間隔：30 秒、20 秒、10 秒、5 秒、 <u>3 秒</u> 画面効果： <u>ワイプ</u> 、チェッカー、フェード、ランダム、OFF 効果音： <u>ON</u> 、OFF	p.68
ファイル復元	—	p.72
リサイズ	記録サイズ：L、M、S、XS、2M、1M、VGA 画質： <u>☆☆☆</u> 、☆☆、☆	p.75
トリミング	—	p.76
フィルター	小顔フィルター：5%、 <u>7%</u> 、10% 魚拓フィルター：1～5 デジタルフィルター： <u>白黒/セピア</u> 、トイカメラ、レトロ、カラー、色抽出、色強調、ハイコントラスト、トゥインクル、ソフト、フィッシュアイ、ミニチュア、明るさ HDR フィルター	p.77
動画編集	静止画保存、動画分割、タイトル画像追加	p.78
赤目補正	—	p.80
起動画面設定	<u>ガイド表示付き起動画面</u> 、RICOH、撮影画像、OFF	p.85
画像の自動回転	ON、 <u>OFF</u>	p.69

## C カスタマイズメニュー

USER 設定登録	U1、U2	p.81
CALS 画素数	L、M、S、XS、2M、 <u>1M</u> 、VGA	p.40
CALS 画質	☆☆☆、☆☆、☆	
ADJ ボタン設定 1 ADJ ボタン設定 2 ADJ ボタン設定 3 ADJ ボタン設定 4 ADJ ボタン設定 5	OFF、露出補正 [設定 1]、記録サイズ [設定 2]、アスペクト比 [設定 3]、ISO 感度 [設定 4]、ホワイトバランス [設定 5]、画像仕上、画質、測光方式、AF、顔検出、ハイライト補正、シャドー補正、アウトドアモニター	p.83
グリーンボタン	<u>グリーン</u> 、露出補正、記録サイズ、画質、アスペクト比、ホワイトバランス、ISO 感度、AF、顔検出、オートマクロ、測光方式、ハイライト補正、シャドー補正、シャープネス、彩度/調色、コントラスト、アウトドアモニター	p.84
起動時日付表示	<u>ON</u> 、OFF	p.85
起動時フォルダ表示	<u>ON</u> 、OFF	
終了画面表示	<u>ON</u> 、OFF	
画像確認時間	<u>0.5 秒</u> 、1 秒、2 秒、3 秒、HOLD、OFF	p.38
クイック拡大	ON、 <u>OFF</u>	p.39
グリッドガイド表示 設定	<u>9 分割</u> 、16 分割	p.85
GPS	ON、 <u>OFF</u>	p.90
GPS 表示モード	<u>LAT/LON</u> 、UTM、MGRS	
GPS ロック	ON、 <u>OFF</u>	
GPS 自動時計補正	ON、 <u>OFF</u>	p.91
GPS ログ	ログの取得：記録間隔、記録時間 ログの保存：NMEA、KML ログの破棄	p.91

コンパス表示	<u>OFF</u> 、方位、度数、方位度数	p.93
コンパスキャリブレーション	—	
コンパス偏角補正	<u>TRUE</u> 、MAG	
水準器設定	OFF、 <u>水平 + アオリ</u> 、水平	p.85
水準器キャリブレーション	設定初期化 キャリブレーション	
入力撮影	GPS 入力撮影：LAT/LON、UTM、MGRS、 <u>OFF</u> UTC 入力撮影：ON、 <u>OFF</u> コンパス入力撮影：ON、 <u>OFF</u>	p.94
コンバージョンレンズ	<u>OFF</u> 、WIDE	p.101
動画ボタン	<u>ON</u> 、OFF	p.46

## 3 セットアップメニュー

初期化 [カード]	—	p.37
初期化 [内蔵メモリー]	—	
フォルダ作成設定	標準、日付、ユーザー	p.95
ファイル名変更設定	標準、ユーザー	p.97
ファイル連続 No.	<u>ON</u> 、OFF	p.97
ファイル番号リセット	—	p.98
著作権情報の添付	ON、 <u>OFF</u>	p.98
著作権情報	任意の 32 文字	
著作権情報印字設定	ON (上書き)、ON (新規)、 <u>OFF</u>	p.99
著作権情報印字位置	左、中、 <u>右</u>	
著作権情報文字サイズ	大、中、 <u>小</u>	
著作権情報の色	<u>橙</u> 、白、黒、赤、青、緑、黄	
ガイド表示	<u>ON</u> 、OFF	p.43
カーソル位置保持	ON、 <u>OFF</u>	p.23
画像モニター輝度調節	-4 ~ +4	p.86
エコモード	OFF、 <u>5 秒</u> 、15 秒、30 秒、1 分、2 分	p.87
アウトドアモニター	-2 ~ +2	p.86
電源ボタンランプ	<u>ON</u> 、OFF	p.86
操作音量	OFF、1 ~ 5 [3]	p.86
再生音量	OFF、1 ~ 8 [3]	
サウンド	起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音	
オートパワーオフ	<u>1 分</u> 、3 分、5 分、10 分、30 分、OFF	p.87
画像モニターオフ	<u>OFF</u> 、1 分、5 分、30 分	p.87

電源ボタン長押し設定	ON、 <u>OFF</u>	p.35
認証マーク	—	—
バージョン情報	—	—
カメラ設定ファイル	書き込み、読み込み	p.82
USB 接続	<u>MSC</u> 、MTP、UVC	p.48 p.74
HDMI 出力	<u>AUTO</u> 、2160P (4K)、1080i、720P、480P	p.70
FlashAir 接続設定	ON、 <u>OFF</u>	p.32
Language/言語	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、トルコ語、ギリシャ語、ロシア語、タイ語、韓国語、中国語 (繁体字)、中国語 (簡体字)、日本語	p.36
日時設定	表示スタイル：Y/M/D、D/M/Y、M/D/Y 日付：2021年1月1日～2045年12月31日 時刻：00:00～23:59	p.36
ワールドタイム	時刻切替：現在地、目的地 現在地：都市、DST 目的地：都市、DST	p.100
初期化設定	静止画、動画、再生、カスタマイズ、セットアップ、画素数	p.23
設定初期化	—	



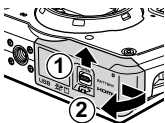
## バッテリーとメモリーカードのセット

### バッテリーとメモリーカードをセットする

本カメラは、市販のSDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカードが使用できます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

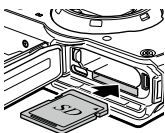
**1** カメラの電源がオフになっていることを確認する

**2** カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドしてから、バッテリー／カードカバーを右にスライドする



**3** メモリーカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥へ挿入する

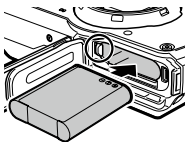
取り出すときは、メモリーカードを押し当てて手を放します。



**4** バッテリーを挿入する

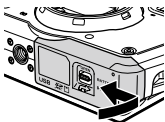
充電式バッテリー（DB-110）の側面でツメを押しながら奥まで入れます。

取り出すときは、ツメを横にずらします。



**5** バッテリー／カードカバーを閉じて左にスライドする

「カチッ」と音がして、確実に閉まったことを確認してください。



**注意**

- ・バッテリー／カードカバーを開閉するときは、カメラに付着した水や砂などの汚れを確実に除去し、汚れが入りやすい場所を避けて使用してください。
- ・バッテリー／カードカバーは確実に閉めてください。水やほこりがカメラ内部に入ることがあります。

**データの記録先**

撮影したデータは、カメラ本体の内蔵メモリーかメモリーカードのどちらかに記録されます。

**メモ**

- ・内蔵メモリーとメモリーカード間で画像をコピーすることができます。(p.72)
- ・記録可能枚数／時間は、メモリーカードの容量によって異なります。(p.115)

**FlashAir カード**

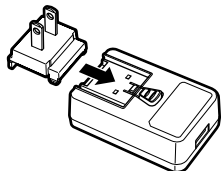
- ・本カメラは、無線 LAN 機能を内蔵した SD メモリーカード「FlashAir カード」が使用できます。FlashAir カードで通信を行うときは、メニュー [FlashAir 接続設定] を [ON] に設定します。FlashAir カードのプロテクトスイッチが LOCK になっていると、設定できません。
- ・無線 LAN で画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、カードメーカーのホームページ等を参照してください。
- ・本製品は、FlashAir カードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、FlashAir カードが使用できるのは、購入した国の国内のみです。詳細は、カードメーカーにお問い合わせください。

## バッテリーを充電する

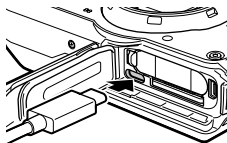
付属の充電式バッテリー DB-110 は、使用する前に充電してください。付属の USB ケーブルと USB 電源アダプター、電源プラグで充電を行います。

### 1 電源プラグを USB 電源アダプターに取り付ける

「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



### 2 バッテリー／カードカバーを開け、USB 端子に USB ケーブルを接続する

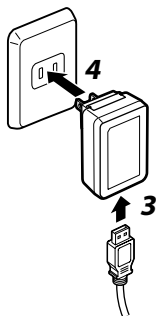


### 3 USB 電源アダプターに USB ケーブルを接続する

### 4 コンセントに USB 電源アダプターを差し込む

カメラの電源ボタンランプが点灯し、充電が始まります。

充電時間はバッテリーの残量によって異なります。バッテリーが空のときは、約 3 時間で充電が完了します。(25℃の場合) 電源ボタンランプが消灯したら充電は終了です。



### 5 USB 端子から USB ケーブルを抜き、バッテリー／カードカバーを閉じる

### 6 USB 電源アダプターをコンセントから取り外す

**記録可能枚数**-----

- ・バッテリーフル充電時の記録可能枚数の目安は、約 340 枚です。
- ・記録可能枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです。(温度 23℃、画像モニターオン、30 秒ごとに撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、10 枚撮影するごとに電源をオフ/オンを繰り返す)
- ・記録可能枚数は目安です。長時間ご使用になる場合は、予備のバッテリーを用意することをお勧めします。

**注意**-----

- ・バッテリー/カードカバーを開閉するときは、カメラに付着した水や砂などの汚れを確実に除去し、汚れが入りやすい場所を避けて使用してください。
- ・充電式バッテリーは、純正品 (DB-110) を使用してください。
- ・正しく充電しても使用できる時間が短くなった場合は、バッテリーの寿命です。その場合は、新しいバッテリーと交換してください。
- ・使用直後のバッテリーは高温になることがあります。バッテリーの取り出しは、カメラの電源をオフにして温度が下がってから行ってください。

**メモ**-----

- ・USB ケーブルでカメラとパソコンを接続したときも、バッテリーの充電ができます。(p.74)
- ・別売りのバッテリー充電器 BJ-11 を利用することもできます。

## 初期設定

電源を入れて初期設定をします。

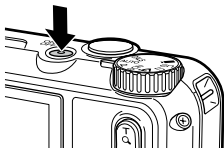
### 電源を入れる

#### 1 電源ボタンを押す

電源ボタンランプが点灯します。

はじめて電源を入れたときは、[Language/言語] 画面が表示されます。

再度電源ボタンを押すと、電源がオフになります。



2

準備  
しまし  
よう



#### メモ

- 電源がオフの状態では電源ボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。
- 電源ボタンのランプは、メニュー [電源ボタンランプ] で [OFF] に設定できます。(p.86)
- 電源をオンにしてから約1分間(初期設定)操作しないと、バッテリーの消耗を抑えるため、自動的に電源がオフになります。省電力に関する設定は、メニューで設定できます。(p.87)
- 電源オン時の画面表示は、メニュー [起動画面設定] で設定できます。(p.85)
- 誤操作防止のため、電源ボタンの長押しでオン/オフを行うように設定することもできます。メニュー [電源ボタン長押し設定] を [ON] に設定すると、電源ボタンを約2秒間押しして電源オン、約5秒間押しして電源オフになります。

## 言語と日時を設定する

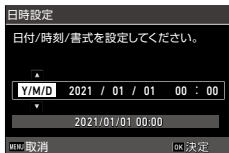
メニュー等の表示言語と日時を設定します。

**1** ▲▼ で言語を選択して **OK** を押す  
言語が設定され、[日時設定] 画面が表示されます。

**2** 表示形式と日時を設定する

◀▶ で項目を移動し、▲▼ で数値を変更します。

**MENU** を押すと、設定がキャンセルされます。



**3** **OK** を押す

日時が設定され、撮影できる状態になります。



**メモ** -----

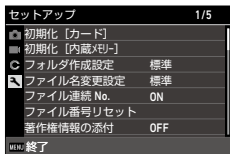
- ・ バッテリーを取り出してから約5日間経過すると、設定した日時がリセットされます。日時を保持するためには、十分に残量のあるバッテリーを2時間以上セットしてからバッテリーを取り出してください。
- ・ 設定した言語・日時は、**Q** メニューで変更ができます。

## メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、本カメラで初期化を実行する必要があります。この操作で、内蔵メモリーも初期化ができます。

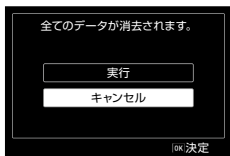
- 1** **MENU** を押す  
メニューが表示されます。

- 2** **◀** を押し、**▲▼** で **🔍** を選択する



- 3** **▶** を押して **[初期化 [カード]]** を選択し、**▶** を押す  
内蔵メモリーを初期化するときは **[初期化 [内蔵メモリー]]** を選択します

- 4** **▲** で **[実行]** を選択し、**OK** を押す  
初期化が実行されます。



- 5** **OK** を押す

- 6** **MENU** を押す  
撮影画面に戻ります。

### **!** 注意

- ・初期化中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- ・初期化を行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。
- ・FlashAir カードは、本カメラで初期化しないでください。

# 撮影のキホン

## オートで撮影する

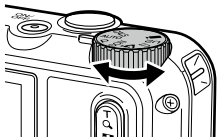
適切な撮影モードをカメラが判別して撮影します

2

準備しましよ  
しよ

### 1 モードダイヤルを回し、AUTO に合わせる

撮影モードが **AUTO** になり、ライブビューが表示されます。



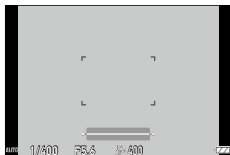
### 2 **Q** (T) / **W** で望遠／広角を切り替える

5 倍まで光学ズームができます。さらに **Q** を押すと、最大 40.5 倍までデジタルズームができます。

### 3 **SHUTTER** を半押しする

撮影モードの判定とピント合わせが行われます。

ピントが合わなかったときは、赤の枠が表示されます。



### 4 **SHUTTER** を全押しする

撮影した画像が画像モニターに表示（クイックビュー）され、記録されます。



#### クイックビューとまばたき検出-----

- ・クイックビューの表示時間は、**C** メニュー [画像確認時間] で設定します。[HOLD] に設定すると、次に **SHUTTER** を半押しするかモードダイヤルを回すまで、クイックビューが表示されます。
- ・カメラが撮影時に被写体のまばたきを検出すると、クイックビューに [目を閉じていました] というメッセージが表示されます。**Q** メニュー [まばたき検出] で [OFF] に設定することもできます。





## ズーム

- ・ **Q** を押し続けると、光学ズームからインテリジェントズームに切り替わって止まります。**Q** を押し直すと、デジタルズームに切り替わって最大 40.5 倍までズームできます。デジタルズームの拡大率は、**☑** メニュー [記録サイズ] の設定によって異なります。
- ・ デジタルズームで撮影された画像は、画質がやや低下します。**☑** メニュー [デジタルズーム] で、デジタルズームを使用するかどうか設定できます。

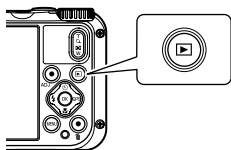
## 撮影した画像を確認する

撮影した画像を順に確認してみましょう。

### 1

**⏪** を押す

再生モードになり、最新の画像が表示されます。(1 画像表示)



### 2

画像を確認する

以下の操作ができます。

<b>◀▶</b>	前後の画像を表示
<b>◀▶</b> 長押し	早戻し/早送り
<b>▲▼</b>	10 コマ戻し/10 コマ送り
<b>🗑️</b>	消去
<b>Q</b> (T)	拡大表示
<b>☒</b> (W)	(拡大表示中) 縮小
<b>▲▼◀▶</b>	(拡大表示中) 拡大表示エリアを移動
<b>OK</b>	表示情報切り替え



## メモ



- ・ 動画は拡大表示できません。
- ・ **C** メニュー [クイック拡大] を [ON] に設定すると、**Q** を 1 回押すだけで最大倍率まで拡大表示されます。

## 静止画を撮影する

### 撮影モードを設定する

モードダイヤルを回して撮影モードを選択します。




3  
撮影する

<p><b>CALS</b> CALCモード</p>	<p><b>C</b> メニュー [CALC 画素数] [CALC 画質] で設定した記録サイズと画質で撮影します。アスペクト比は [4:3] 固定です。 初期設定では、工事写真提出用に適した [1M] [☆☆] で撮影できます。</p>
<p><b>AUTO</b> オートモード</p>	<p>適切な撮影モードをカメラが判別して撮影します。 (p.38)</p>
<p><b>P</b> プログラムモード</p>	<p>シャッター速度と絞り値をカメラが判断して撮影します。</p>
<p><b>SCN</b> シーンモード</p>	<p>さまざまなシーンから選択し、最適な設定で撮影します。 (p.42)</p>
<p> デジタル顕微鏡 モード</p>	<p>リングライトが点灯し、被写体に 1cm まで近づいて撮影ができます。 フォーカス [1cm マクロ]、フラッシュモード [リングライト]、記録サイズ [XS]、アスペクト比 [4:3] 固定です。 付属のマクロスタンド (p.11) を取り付けると、被写体との距離を 1cm に固定することができます。</p>
<p><b>U1 / U2</b> ユーザーモード</p>	<p>撮影設定を登録して利用します。(p.81)</p>
<p> 動画モード</p>	<p>動画を撮影します。(p.45)</p>



## グリーンモード

---

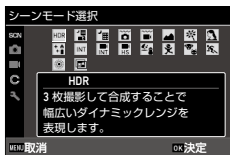
- ・グリーンボタンを押すと「グリーンモード」になり、撮影モードや  メニューの設定にかかわらず、標準設定で撮影ができます。グリーンボタンをもう一度押すと、元の撮影モードに戻ります。
- ・グリーンモードでは、 メニューの設定は変更できません。
- ・グリーンモードのまま電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときもグリーンモードになります。
- ・ メニュー [グリーンボタン] でグリーンボタンを他の機能に設定しているときは、グリーンモードは利用できません。

## シーンモードで撮影する

**1** モードダイヤルを **SCN** に合わせる  
SCN モードになります。


**2** **MENU** を押す  
SCN メニューが表示されます。

**3** ▲▼◀▶ でシーンを選擇する





以下から選擇します。

**HDR** HDR

 手持ち夜景


 夜景

 マーメイド

 マーメイドムービー


 風景


 花


 ポートレート


 高感度

**INT** インターバル撮影


 インターバル動画

 **HS** ハイスピードカメラ


 サーフ&スノー

 キッズ

 ペット

 スポーツ


 花火

 被写界深度合成

**4** **OK** を押す  
シーンが設定されます。



## メモ


- SCN メニューは、SCN モードのときだけ表示されます。
- [インターバル撮影] [インターバル動画] は、一定の間隔で自動撮影が行われます。[撮影間隔] [撮影枚数] ([インターバル動画] は [撮影所要時間]) [撮影開始時間] を設定します。
- 手順 3 の画面では、シーンの説明が表示されます。表示したくない場合は、 メニュー [ガイド表示] を [OFF] に設定します。



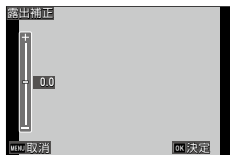
## 注意

- 選択したシーンによって、設定できる機能が制限されます。
- [HDR] [被写界深度合成] で撮影するときは、三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- GPS ログの記録中は、[インターバル撮影] [インターバル動画] は選択できません。(p.91)

## 露出を補正する

1  メニュー [露出補正] を選択し、▶ を押す  
[露出補正] 画面が表示されます。


2 ▲▼ で補正值を選択する  
± 2.0 の範囲で設定できます。




3

撮影する

3  を押す

4  を押す  
撮影画面に戻ります。

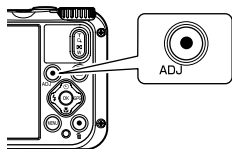
 **注意** -----  
・ AUTO モードでは、露出補正はできません。

## 動画を撮影する

モードダイヤルが **■** 以外でも、すぐに動画が撮影できます。

**1** **C** メニュー [動画ボタン] を [ON] に設定する  
動画ボタンで撮影できるようになります。

**2** 動画ボタンを押す  
録画が開始されます。  
録画中は、記録時間が表示されます。



**3** もう一度動画ボタンを押す  
録画が終了します。

- メモ** -----
- ・モードダイヤルの位置にかかわらず、動画ボタンで撮影したときは [記録サイズ] は [FullHD 30fps]、[Movie SR] は [ON] 固定で撮影されます。
  - ・モードダイヤルが **■** になっているときは、**SHUTTER** で撮影してください。

## 注意

- **C** メニュー [動画ボタン] を [OFF] に設定したときは、モードダイヤルを **1** に合わせて **SHUTTER** で撮影し、**SHUTTER** で撮影を終了します。
- 動画ボタンで撮影を開始したときは、動画ボタンで撮影を終了してください。
- 以下のときは、動画ボタンで撮影することはできません。
  - **SCN** モード [マーメイドムービー] [インターバル撮影] [インターバル動画] [ハイスピードカメラ] [ペット] / **5** モード
  - **1** メニュー [顔検出] が [スマイル] [アシスト+スマイル] のとき
- **1** メニュー [マイク] を [ON] (初期設定) に設定している場合、カメラの動作音なども録音されます。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- **1** モードでは、フラッシュは使用できません。
- **C** メニュー [ADJ ボタン設定 1] ~ [ADJ ボタン設定 5] で動画ボタンの機能を変更しているときは、**SHUTTER** で撮影してください。(p.83)
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになると、撮影は終了します。1 回あたりの撮影可能時間は、ご使用のメモリーカードによって異なります。(p.115) また撮影可能時間内でも、撮影が終了することがあります。
- 残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、時間の変化が一定でないことがあります。
- 動画撮影時に動作保証されるメモリーカードについては、p.116 を参照してください。
- 十分に残量のあるバッテリー、または別売りの AC アダプター (K-AC166J) のご使用をお勧めします。



### 1 を押す







再生モードの1画像表示になります。

### 2 で再生する動画を選択する

最初の1フレーム目が静止画で表示されます。



### 3 再生する

以下の操作ができます。

	再生／一時停止
	早送り／早戻し
	停止
 (T) /  (W)	音量調節
	表示情報切り替え



#### メモ

- 再生したときの最初の音量は、 メニュー [再生音量] で設定できます。
-  メニュー [動画編集] で、動画の分割やタイトル画像の追加ができます。(p.78)

## Web カメラとして利用する

ネットワーク経由でビデオ会議等を行うときの Web カメラとして利用することができます。

以下のソフトウェアに対応しています。

- Zoom
- Skype
- Microsoft Teams
- Google Meet
- Cisco WebEx
- Facebook Messenger

### 注意

- Web カメラ機能は以下の OS に対応しています。
  - Windows® 10 / Windows® 8.1
  - macOS 11 Big Sur / macOS 10.15 Catalina

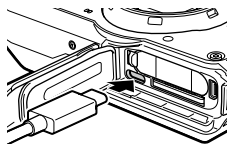
## カメラを設置する

1 メニュー [USB 接続] を選択し、▶ を押す

2 [UVC] を選択し、OK を押す

3 カメラのバッテリー／カードカバーを開き、USB 端子に USB ケーブルを接続する

AF 補助光ランプが点灯し、UVC モードになります。



4 カメラを三脚などで固定する






5 Web 会議用ソフトウェアを起動し、カメラの設定項目で「RICOH WG-7」を選択する

6 UVC モードを終了するときには、カメラの電源をオフにする

## 注意

- UVC モードの画質は、[FullHD 30fps] 固定です。
- UVC モード中は、画像モニターは表示されません。
- カメラを三脚などに取り付けるときは、別売のエクステンションアダプター TE-2 をご利用ください。

## メモ

- 各ソフトウェアの設定は、ヘルプ等を参照してください。
- UVC モードのときにモードダイヤルを **U1** に合わせると、リングライトが点灯します。**U1** 以外に合わせると、リングライトが消灯します。リングライトの明るさと点灯位置は、 メニュー [リングライト] で変更できます。なお、リングライト使用時は、Web カメラ機能の連続使用時間が制限されます。
- UVC モード中に  (T) /  (W) を操作すると、画角を変えることができます。
- UVC モード中も、通常領域 (10cm ~ ∞) で AF が動作します。それよりも近距離で AF を行う場合は、 (▼) を押すと [1cm マクロ] に切り替えることができます。
- UVC モードの設定は、カメラの電源をオフにしても保持されます。設定を解除するときは、USB ケーブルを外して  メニュー [USB 接続] を [UVC] 以外に変更してください。

## フォーカスモードを設定する

### 1 撮影モードで (▼) を押す

[フォーカスモード] 画面が表示されます。

### 2 ▲▼ で選択する



 標準	<b>SHUTTER</b> 半押しで、カメラから 50cm 以上の距離の被写体にピントを合わせます。  メニュー [オートマクロ] が [ON] (初期設定) のときは、マクロの領域にもピントが合います。
 マクロ	カメラから 10 ~ 60cm の距離の被写体にピントを合わせます。
 1cm マクロ	カメラから 1 ~ 30cm の距離の被写体にピントを合わせます。
 パンフォーカス	手前から遠景までにピントを合わせます。
 無限遠	無限遠にピントを固定します。遠くの風景などを撮影するときに使います。
 MF	手動でピントを合わせます。(p.52)

### 3 **OK** を押す

撮影画面に戻ります。



## メモ

- メニュー [フォーカス] で設定することもできます。
- 静止画モードの AF 方式は、 メニュー [AF] で選択できます。

マルチ	3 × 3 の測距エリアから測距し、最も近い位置にピントを合わせます。[初期設定]
スポット	中央の測距エリアにピントを合わせます。
追尾	<b>SHUTTER</b> を半押ししている間、ピントを合わせ続けます。

- AF 時は、人物の顔を自動で検出します。(最大 30 個) メニュー [顔検出] で検出方法を選択できます。

ON	人物の顔を検出します。
スマイル	被写体が笑顔になると自動で撮影します。
アシスト	人物の顔を検出すると、リングライトが点滅します。画角のどの位置で検出しているかを、リングライトの点滅位置で示します。
アシスト + スマイル	人物の顔を検出するとリングライトが点滅し、被写体が笑顔になると自動で撮影します。
OFF	人物の顔を検出しません。

- AF 時は、必要に応じてカメラ前面の AF 補助光が発光します。 メニュー [AF 補助光] で [OFF] に設定することもできます。

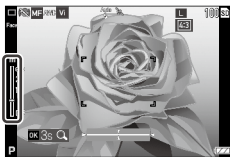
## 手動でピントを合わせる (マニュアルフォーカス)

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせます。

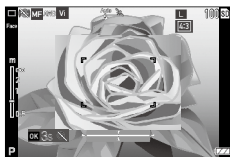
マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影できます。

- 1 p.50 の手順 2 で [MF] を選択し、**OK** を押す  
撮影画面にフォーカスバーが表示されます。

- 2 ▲▼ でピントを合わせる距離を調整する



**OK** を長押しすると、画面の中央が拡大表示されます。もう一度 **OK** を長押しすると、通常の見え方に戻ります。






メモ

- [MF] から他のフォーカスモードに変更するときは、**カメラ** メニュー [フォーカス] で変更してください。

## 露出を設定する

### 測光方式を選択する

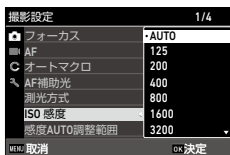
📷 メニュー [測光方式] で設定します。

 分割	撮影範囲を分割して、総合的に判断します。
 中央	中央を重点的に測光します。
 スポット	狭い範囲を測光します。 一部の露出を測りたいときや、露出を合わせたい被写体が小さいときなどに利用します。

## ISO 感度を設定する

1 メニュー [ISO 感度] を選択し、▶ を押す

2 ▲▼ で選択する



3

撮影する

3 を押す

4 を押す

撮影画面に戻ります。



メモ

- ・撮影モードによって設定できる値が異なります。以下の **SCN** モードでは [ISO 感度] は設定できません。
  - ・ [高感度] [インターバル動画] [ハイスピードカメラ]
  - ・ [HDR] ([AUTO] 固定)
- ・ [ISO 感度] で [AUTO] を設定したときと **SCN** モード [HDR] では、 メニュー [感度 AUTO 調整範囲] で [AUTO] の調整範囲が設定できます。**CALS** モードは [感度 AUTO 調整範囲] は設定できません。



注意

- ・ ISO 感度を高くすると、画質が粗くなる場合があります。
- ・ ISO 感度によっては、 メニュー [D-Range 設定] の設定が無効になります。(p.63)









## フラッシュを使用する

- 1 撮影モードで  (◀) を押す  
[フラッシュモード] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ で選択する



 Auto オート	状況に応じてフラッシュが発光します。
 発光禁止	フラッシュを発光しません。
 強制発光	常にフラッシュを発光します。
 オート + 赤目	赤目現象を軽減しながら、状況に応じてフラッシュを発光します。
 強制 + 赤目	赤目現象を軽減しながら、強制発光します。
 リングライト	レンズ周囲のリングライトを発光します。(p.56)

- 3 **OK** を押す  
撮影画面に戻ります。



## メモ

- ・ メニュー [フラッシュモード] で設定することもできます。
- ・ SCN モード [マーメイド] のときは、フラッシュがオンとオフの2枚の画像が撮影できます。



## 注意

- ・ フラッシュの充電中は、撮影できません。
- ・ モードのときは、フラッシュは使用できません。

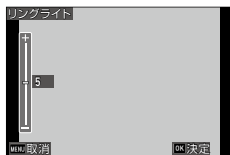
## 3

### リングライトを使用する

撮影する

p.55 の手順 2 の画面で [リングライト] を選択し、▶ を押すと、リングライトの明るさを設定できます。

リングライトの点灯方法は、 メニュー [リングライト] で設定できます。



選択	[全灯] [右] [左] [上] [下] [OFF]
明るさ	[1] ~ [9]
点灯時間	[常時 ON] [SH 連動 10s] [SH 連動 20s 秒] [SH 連動 30s] [SH 連動 60s]




## 注意

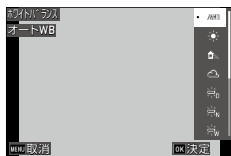
- ・ 以下のときは [リングライト] を選択できません。
  - ・ **AUTO** モード / **SCN** モード / モード









## ホワイトバランスを設定する




ホワイトバランスを設定して、白い被写体がどのような光の下でも白く写るように調整します。

- 1  メニュー [ホワイトバランス] を選択し、▶ を押す  
[ホワイトバランス] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼で選択する



 オート WB	自動的に調整します。
 太陽光	晴天の屋外での撮影時に使用します。
 日陰	日陰での撮影時に使用します。
 曇天	曇天での撮影時に使用します。
 昼光色蛍光灯	昼光色蛍光灯での撮影時に使用します。
 昼白色蛍光灯	昼白色蛍光灯での撮影時に使用します。
 白色蛍光灯	白色蛍光灯での撮影時に使用します。
 電球色蛍光灯	電球色蛍光灯での撮影時に使用します。

 白熱灯	白熱灯での撮影時に使用します。
 リングライト	カメラのリングライト使用時に設定します。
 マニュアル WB	手動で設定します。(p.58)

**3** **OK** を押す

**4** **MENU** を押す  
撮影画面に戻ります。

**!** **注意** -----  
 ・被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。

## ホワイトバランスを手動で設定する

**1** p.57 の手順 2 で [マニュアル WB] を選択する

**2** 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

**3** グリーンボタンを押す  
ホワイトバランス調整用の画像が撮影されます。



**4** **OK** を押す

**5** **MENU** を押す  
撮影画面に戻ります。

## ドライブモードを設定する

撮影モードで **ON** (▲) を押して設定します。  
☑️ メニュー [ドライブモード] で設定することもできます。





## セルフタイマーで撮影する

3

撮影する

**1** 撮影モードで **ON** (▲) を押す  
[ドライブモード] 画面が表示されます。

**2** ▲▼ で選択する

 セルフ 10 秒	<b>SHUTTER</b> を押してから 10 秒後に撮影します。
 セルフ 2 秒	<b>SHUTTER</b> を押してから 2 秒後に撮影します。





**3** **OK** を押す  
撮影画面に戻ります。

**4** **SHUTTER** を押す  
カウントダウン中は AF 補助光が点滅し、10 秒後または 2 秒後に撮影されます。  
カウントダウン中に **SHUTTER** を半押しすると、セルフタイマーは解除されます。

## 連続して撮影する



- 1** 撮影モードで  (▲) を押す  
[ドライブモード] 画面が表示されます。

**2** ▲▼ で選択する

 連続撮影	<b>SHUTTER</b> を押している間、連続して撮影します。
 高速連写	記録サイズ [S]、アスペクト比 [4:3] に固定し、高速で連続撮影します。
 M 連写	<b>SHUTTER</b> を押している間、連続して撮影を行い、指を離れたときから 2 秒間さかのぼった 16 枚 / 25 枚の静止画を 5184 × 3888 ピクセルの 1 つの画像として記録します。(メモリー逆戻り連写)
 S 連写	<b>SHUTTER</b> を全押ししたときから 16 枚 / 25 枚の画像を連続撮影し、5184 × 3888 ピクセルの 1 つの画像として記録します。(ストリーム連写)

- 3** **OK** を押す  
撮影画面に戻ります。

**!** 注意

- 以下の機能は使用できません。
  - フラッシュ
  -  メニュー [著作権情報印字設定] の [ON (新規)]
- 以下の撮影モードのときは、[連続撮影] は選択できません。
  - AUTO** モード
  - SCN** モード [夜景] [マーメイドムービー] [インターバル撮影] [花火]
  -  モード



## メモ

- ・連写時は、フォーカスと露出値が固定されて撮影されます。
- ・連続して撮影できる枚数は、 メニュー [記録サイズ] の設定によって異なります。
- ・連写の設定は、電源を入れ直すと解除されます。
- ・[M 連写] で **SHUTTER** から指を離すのが早かった場合、記録される画像が 16 枚 / 25 枚に満たないことがあります。
- ・[M 連写] [S 連写] で撮影した画像は、 モードの 1 画像表示で 16 分割 / 25 分割で表示されます。 (T) を押すと 1 画像が拡大表示され、 で前後の画像が表示できます。

## リモコンで撮影する

別売りのリモコンを使って撮影します。

## 1

撮影モードで (▲) を押す  
[ドライブモード] 画面が表示されます。

## 2

▲▼ で選択する

 0s リモコン	リモコンのシャッターボタンを押すと、すぐ撮影されます。
 3s リモコン	リモコンのシャッターボタンを押してから 3 秒後に撮影されます。

## 3

**OK** を押す  
撮影画面に戻ります。

## 4

カメラのリモコン受光部にリモコンを向け、シャッターボタンを押す



## メモ

- ・カメラ正面約 4m、背面約 2m の距離からリモコンで撮影できます。

## 露出を変化させて撮影する

1回の撮影で、-1.0EV / 0EV / +1.0EVに露出が変化した画像を3枚保存します。

**1** 撮影モードで  (▲) を押す  
[ドライブモード] 画面が表示されます。

**2** ▲▼で [オートブラケット] を選択して **OK** を押す  
撮影画面に戻ります。

**3** **SHUTTER** を押す  
1回のリリースで3枚の画像が撮影されます。  
クイックビューでは、3枚の画像が並んで表示されます。



## 記録方法を設定する

### 静止画の記録設定

📷 メニューで静止画の形式を設定します。

記録サイズ	[L] [M] [S] [XS] [VGA]
アスペクト比	[4:3] [3:2] [1:1]
画質	[☆☆☆] [☆☆] [☆]

#### ⚠ 注意

- ・撮影モードによって、設定できる値に制限があります。

#### 📷 メモ

- ・CALS モードの記録設定は、C メニュー [CALS 画素数] [CALS 画質] で設定します。

### 動画の記録設定

📷 メニューで動画の形式を設定します。

記録サイズ	記録サイズを以下から選択します。 [4K 30fps] (3840 × 2160) [FullHD 30fps] (1920 × 1080) [HD 60fps] (1280 × 720) [HD 30fps] (1280 × 720)
HDR	HDR 録画を行うかどうか設定します。
マイク	音声を記録するかどうか設定します。
風切音低減	風切音を低減させて録音します。

#### 📷 メモ

- ・動画の手ぶれ補正については、「手ぶれを補正する」(p.66) を参照してください。


#### ⚠ 注意

- ・[記録サイズ] が [4K 30fps] [HD 60fps] のときは、[HDR] と 📷 メニュー [Movie SR+] は [OFF] 固定です。
- ・[HDR] と 📷 メニュー [Movie SR+] は、同時に設定できません。







## 画像仕上と補正の設定

### 写真の雰囲気を決めて撮影する（画像仕上）


仕上がりイメージを決めて撮影します。

**1**  メニュー [画像仕上] を選択し、▶ を押す  
[画像仕上] 画面が表示されます。

**2** ▲▼ で選択する

 鮮やか	[コントラスト] [シャープネス] [彩度] を高めにして、メリハリのある仕上がりにします。
 ナチュラル	実際の色合いに近い自然な仕上がりにします。
 雅 (MIYABI)	深みのある明るく華やかな雰囲気に仕上げます。
 リバーサル	リバーサルフィルムで撮影したような、明暗差を強調した仕上がりにします。
 モノトーン	白黒で撮影します。  メニュー [調色] を設定します。(p.65)

**3**  を押す

**4**  を押す  
撮影画面に戻ります。

## シャープネス／彩度／調色／コントラストを設定する

📷 メニューで以下の設定ができます。

シャープネス	[ソフト] [標準] [ハード] が選択できます。
彩度	[弱] [標準] [強] が選択できます。 📷 メニュー [画像仕上] を [モノトーン] 以外に設定したときに設定します。
調色	[青] [白黒] [セピア] が選択できます。 📷 メニュー [画像仕上] を [モノトーン] に設定したときに設定します。
コントラスト	[弱] [標準] [強] が選択できます。

## 日付を写し込む

カメラに設定された日時設定をもとに、画像の右下に日時を写し込むことができます。📷 メニュー [日付写し込み] で設定します。

### ⚠ 注意

- 写し込んだ日付は削除できません。
- 以下のときは、日付を写し込むことはできません。
  - SCN モード [マーメイドムービー] [ハイスピードカメラ]
  - 📷 モード
  - [ドライブモード] の [高速連写] [M 連写] [S 連写]
- 📷 メニュー [入力撮影] の [UTC 入力撮影] が [ON] に設定されているときは、[日付写し込み] は [OFF] 固定です。(p.94)

## 解像感を高めて撮影する

画像処理によって解像感を高めて撮影します。📷 メニュー [超解像] で設定します。

### ⚠ 注意

- 以下のときは、[超解像] は無効です。
  - [ドライブモード] の [高速連写] [M 連写] [S 連写] [オートブラケット]

## 階調を補正する (D-Range 設定)

📷 メニュー [D-Range 設定] で、画像の階調を広げて明るい部分から暗い部分まで表現できるようにします。

ハイライト補正	画像の明るい部分を補正します。
シャドウ補正	画像の暗い部分を補正します。

3

撮影する

### ⚠ 注意

- ・ 撮影場所が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、[D-Range 設定] の効果が出ないことがあります。

## 手ぶれを補正する

手ぶれを自動的に補正するときは、以下の機能を設定します。

静止画モード	📷 メニュー [手ぶれ補正]
動画モード	🎥 メニュー [Movie SR] [Movie SR+]

### 📌 メモ

- ・ [Movie SR+] を [ON] に設定すると、ゆがみの少ない画像を得ることができます。


### ⚠ 注意

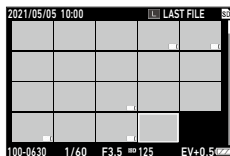
- ・ 以下のときは、[Movie SR] [Movie SR+] は [OFF] 固定です。
  - ・ SCN モード [インターバル動画] [ハイスピードカメラ]
- ・ 以下のときは、[Movie SR+] は [OFF] 固定です。
  - ・ [記録サイズ] が [4K 30fps] [HD 60fps] のとき
  - ・ 🎥 メニュー [HDR] が [ON] のとき

## 再生方法を変更する





### 複数画像を表示する


複数の画像を一覧表示します。

- 再生モードの1画像表示で  (W) を押す  
20分割表示になります。



以下の操作ができます。

	選択枠を移動
 (W) /  (T)	20分割表示 / 81分割表示 / フォルダ（カレンダー）表示切り替え
グリーンボタン	フォルダ表示 / カレンダー表示切り替え
	選択消去 (p.71)

-  を押す  
選択した画像が1画像表示になります。



メモ

- 画像に自動的に付けられたファイル番号の順に再生されます。

## 連続して再生する（スライドショー）

- 1** **▶** メニュー [スライドショー] を選択し、**▶** を押す  
[スライドショー] 画面が表示されます。




### 2 画像を切り替える間隔と効果を設定する

表示間隔	画像を切り替える間隔を選択します。 [画面効果] が [ランダム] のときは設定できません。
画面効果	画像を切り替えるときの効果を選択します。
効果音	効果音を設定します。 [画面効果] が [ランダム] のときは、[OFF] 固定です。

- 3** [スタート] を選択し、**OK** を押す  
スライドショーが開始されます。  
**OK** を押すと、一時停止／再開します。  
その他のボタンを押すと終了します。

## 画像を回転して表示する

画像の回転情報を変更します。


- 1 再生モードの1画像表示で画像を表示する
- 2  メニュー [回転] を選択し、 を押す
- 3 回転方向を選択し、 を押す



### 注意

- ・メモリーカードがプロテクトされているとき、または以下の画像は、回転方向を変更できません。
  - ・動画
  - ・[M 連写] [S 連写] の画像
  - ・プロテクトされた画像

### 画像の自動回転

- ・ メニュー [画像の自動回転] を [ON] に設定すると、1画像表示のときに、カメラの向きに合わせて画像が回転して表示されます。[OFF] (初期設定) になっているときは、[回転] の指定にかかわらず、一定の向きで表示されます。
- ・動画は、回転表示されません。
- ・以下のときは、回転表示されません。
  - ・スライドショー再生中
  - ・AV 機器接続中

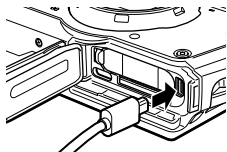
## AV 機器と接続する

HDMI® 端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、画像の再生ができます。

接続する機器に合わせて、市販の HDMI® ケーブルを用意してください。

### 1 AV 機器とカメラの電源を切る

### 2 カメラのバッテリー／カードカバーを開けて、HDMI® マイクロ出力端子に HDMI® ケーブルを接続する



### 3 HDMI® ケーブルのもう一方の端子を AV 機器の映像入力端子に接続する

詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

### 4 AV 機器とカメラの電源をオンにする

#### 注意

- ・バッテリー／カードカバーを開閉するときは、カメラに付着した水や砂などの汚れを確実に除去し、汚れが入りやすい場所を避けて使用してください。
- ・AV 機器と接続しているときは、画像モニターは表示されません。
- ・動画の音声は AV 機器から出力されます。音量調整は AV 機器で行ってください。
- ・HDMI® ケーブルは、3m 以下の長さのものを使用してください（推奨品：Panasonic 社製 RP-CHEU15-K）。RICOH HDMI ケーブル HC-1 は使用できません。


#### メモ

- ・再生モードで AV 機器と接続すると、1 画像表示になります。
- ・HDMI® で出力したときの出力方式は、AV 機器とカメラが対応する最大サイズが自動的に選択されます。うまく映らない場合は、メニュー [HDMI 出力] で設定を変更してください。




# ファイルを整理する

## 消去する

1 1 画像表示または複数画像表示で  を押す

2 消去方法を選択し、**OK** を押す


 を押す前の状態によって、消去方法が異なります。

1 画像表示	[1 ファイル削除] [複数選択削除] [全ファイル削除] を選択 [複数選択削除] を選択後、[1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択
20 分割表示/ 81 分割表示	[1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択

[全ファイル削除] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

3 消去画像を選択する



	選択枠を移動
<b>OK</b>	画像を選択/解除 (範囲を指定) 選択範囲の始点/終点を指定

4  を押す

確認の画面が表示されます。

5 [実行] を選択し、**OK** を押す

選択した画像が消去されます。



## メモ

- ・プロテクトされている画像は選択できません。

## ファイルを復元する

▶ メニュー [ファイル復元] で、消去したファイルを復活させることができます。



## 注意

- ・消去後に以下の操作を行った場合は、復元できません。
  - ・電源オフ
  - ・再生モードから撮影モードへの切り替え
  - ・▶ メニュー [画像コピー] [リサイズ] [トリミング]
  - ・↶ メニュー [初期化 [カード]] [初期化 [内蔵メモリー]]

## 画像をコピーする

内蔵メモリーとメモリーカード間で画像をコピーします。

**1** メモリーカードをセットする

**2** ▶ メニュー [画像コピー] を選択し、▶ を押す

**3** コピー方法を選択し、OK を押す

内蔵メモリー >>>SD カード	内蔵メモリーの全画像をメモリーカードにコピーします。 メモリーカードの空き容量が不足している場合は、コピーできません。
SD カード >>> 内蔵メモリー	メモリーカードの画像を1枚ずつ確認しながら内蔵メモリーにコピーします。 ファイル名が自動的に変更されます。

## プロテクトを設定する

画像を誤って削除しないように保護します。

**1** **□** メニュー [プロテクト] を選択し、**▶** を押す

**2** 設定方法を選択する

[1 ファイル] [複数選択] [全ファイル選択] [全ファイル解除] から選択します。

[1 ファイル] を選択した場合は、**◀▶** で画像を切り替えます。

**3** **OK** を押す

[複数選択] を選択した場合は、手順 4 に進みます。

**4** [1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択する

**5** 設定する画像を選択する



<b>▲▼◀▶</b>	選択枠を移動
<b>OK</b>	選択/解除 (範囲を指定) 始点/終点を指定

**6** グリーンボタンを押す

選択した画像にプロテクトが設定/解除されます。



**メモ**

- ・プロテクトが設定されていた画像にプロテクトを設定すると、解除されます。



**注意**

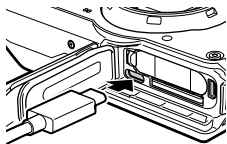
- ・**↖** メニュー [初期化 [カード]] [初期化 [内蔵メモリー]] を行うと、プロテクトされた画像も削除されます。

## 画像をパソコンにコピーする

付属の USB ケーブルを使用してパソコンと接続します。

**1**  メニュー [USB 接続] を [MSC] に設定する

**2** カメラのバッテリー／カードカバーを開き、USB 端子に USB ケーブルを接続する



**3** USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する

カメラがデバイスとしてパソコンに認識されます。

メモリーカードがセットされているときはメモリーカードのファイル、セットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。

**4** 画像をパソコンにコピーする

**5** 保存が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

**6** USB ケーブルを取り外す

### 注意

- ・バッテリー／カードカバーを開閉するときは、カメラに付着した水や砂などの汚れを確実に除去し、汚れが入りやすい場所を避けて使用してください。
- ・画像の取り込み中は、USB ケーブルを抜かないでください。

### メモ

- ・パソコンに接続してカメラの電源をオフにすると、バッテリーの充電が開始されます。
- ・本カメラとの接続に必要なパソコンのシステム環境については、「動作環境」(p.116) を参照してください。

## 画像を加工・編集する

撮影した画像を加工・編集します。

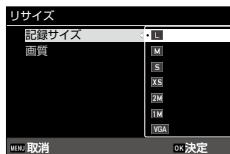
### ❗ 注意

- 加工・編集ができるのは、本カメラで撮影した画像のみです。動画から保存した静止画は加工・編集できません。
- 加工・編集を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

## 画像サイズを変更する



### サイズを小さくする（リサイズ）

- 再生モードの1画像表示で画像を表示する
- ▶メニュー [リサイズ] を選択し、▶を押す  
[リサイズ] 画面が表示されます。
- [記録サイズ] [画質] を選択する  
撮影時の設定よりも小さいサイズが選択できます。
- OK を押す
- [上書き保存] [新規保存] を選択し、OK を押す  
画像が保存されます。










## トリミングする

画像の一部を切り取って保存します。

- 1 再生モードの1画像表示で画像を表示する
- 2  メニュー [トリミング] を選択し、 を押す  
[トリミング] 画面が表示されます。
- 3 トリミングする範囲を指定する



 (T) /  (W)	トリミングサイズを変更
   	トリミング枠を移動

- 4  を押す  
画像が新規保存されます。

## フィルターで加工する

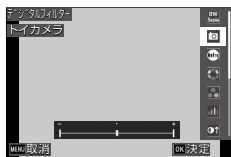
フィルターで画像を加工します。

- 再生モードの1画像表示で画像を表示する
- メニュー [フィルター] を選択し、▶ を押す  
[フィルター] 画面が表示されます。
- ▲▼ でフィルターを選択し、▶ を押す

小顔フィルター	[5%] [7%] [10%]
魚拓フィルター	[1] ~ [5]
デジタルフィルター	[白黒/セピア] [トイカメラ] [レトロ] [カラー] [色抽出] [色強調] [ハイコントラスト] [トゥ インクル] [ソフト] [フィッシュアイ] [ミニチュ ア] [明るさ]
HDR フィルター	—

[HDR フィルター] を選択した場合は、手順5に進みます。

- ◀▶ で値を指定する  
[デジタルフィルター] は、▲▼ で種類  
を選択してから ▶ で値を指定します。



- OK を押す
- [上書き保存] [新規保存] を選択し、OK を押す  
画像が保存されます。

## 動画を編集する

- 1 **▶** メニュー [動画編集] を選択し、**▶** を押す  
[動画編集] 画面が表示されます。

- 2 **▲▼** で編集方法を選択する

静止画保存	特定のコマを静止画で保存
動画分割	分割点を指定し、その前後で分割した2つの動画を新規保存
タイトル画像追加	サムネイル用の画像を設定

それぞれ以下を参照してください。

### 特定のコマを静止画で保存する

- 1 [静止画保存] を選択し、**OK** を押す  
動画の再生画面が表示されます。

- 2 保存する画像を表示する  
動画再生時と同様に、再生や一時停止等ができます。




- 3 **OK** を押す  
選択したコマが静止画で保存されます。



## 動画を分割する

- 1 [動画分割] を選択し、**OK** を押す  
動画の再生画面が表示されます。
  - 2 分割位置の画像を表示する  
動画再生時と同様に、再生や一時停止等ができます。  
分割位置は、30 フレーム単位で指定できます。
  - 3 **OK** を押す  
確認の画面が表示されます。
  - 4 [分割] を選択し、**OK** を押す  
選択したコマで分割された動画が新規保存されます。
- 注意**-----
- ・記録時間が2秒未満の動画は分割できません。

## サムネイル用の画像を設定する

- 1 [タイトル画像追加] を選択し、**OK** を押す  
画像を選択する画面が表示されます。
  - 2 ◀▶ で画像を選択する
- 
- 3 **OK** を押す
  - 4 画像を動画の先頭に挿入するか最後に挿入するか指定し、**OK** を押す  
指定した位置に画像が挿入されます。



## メモ

- ・ 挿入した画像は、動画の最初または最後に 3 秒間表示されます。
- ・ 先頭に画像を挿入した場合は、動画のサムネイルとしてその画像が表示されます。最後に挿入した場合は、動画のサムネイルは変更されません。



## 注意

- ・ タイトル画像を追加すると 26 分以上になる動画には、設定できません。

## 赤目を補正する

フラッシュ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

### 1

再生モードの 1 画像表示で画像を表示する

### 2

□ メニュー [赤目補正] を選択し、▶ を押す

### 3

[上書き保存] [新規保存] を選択し、OK を押す  
画像が保存されます。



## 注意



- ・ 以下の画像は赤目補正できません。
  - ・ カメラが赤目と判定できなかった画像
  - ・ 動画

## よく使う設定値を登録する

### モードダイヤルを利用する

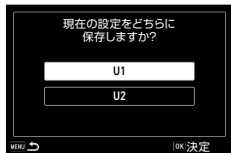
よく使用する撮影設定をモードダイヤル **U1** / **U2** に割り当てて、簡単に呼び出して利用できます。

以下の機能が登録できます。

- ・ 撮影モード
- ・  /  メニュー（一部を除く）
- ・ **C** メニューの一部

### 設定を登録する

- 1 登録する撮影モードと機能をすべて設定する
- 2 **C** メニュー [USER 設定登録] を選択し、**▶** を押す
- 3 [U1] [U2] を選択し、**OK** を押す  
設定が登録されます。




### USER モードを利用する

- 1 撮影モードで、モードダイヤルを **U1** / **U2** に合わせる
- 2 必要に応じて設定を変更する

- ◆ **メモ** -----
  - ・ 手順 2 で変更した設定は、カメラに記憶されません。モードダイヤルを切り替えると、登録済みの設定に戻ります。

## 設定をファイルに保存する

メニューで設定した内容を、メモリーカードに保存することができます。設定内容を復元したり、複数のカメラを同じ設定にすることができます。

 メニュー [カメラ設定ファイル] の [書き込み] でメモリーカードに保存し、[読み込み] で保存されていた設定を呼び出します。

### 注意

- 設定ファイルはメモリーカード内「SYSTEM」フォルダーに「CAMERA.PRM」というファイル名で保存されます。[書き込み] を行うと、古いファイルは上書きされます。
- メモリーカードに記録できない状態のときは、設定ファイルは保存できません。

# ボタンをカスタマイズする

## 動画ボタンに機能を登録する

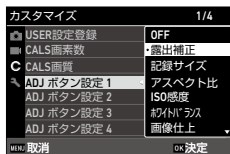
動画ボタンを押して機能を簡単に利用する「ADJモード」の設定ができます。

以下から5つの機能が登録できます。( [ ] は初期設定)

- OFF
- 露出補正 [設定 1]
- 記録サイズ [設定 2]
- アスペクト比 [設定 3]
- ISO感度 [設定 4]
- ホワイトバランス [設定 5]
- 画像仕上
- 画質
- 測光方式
- AF
- 顔検出
- ハイライト補正
- シャドー補正
- アウトドアモニター

**1** **C** メニュー [ADJ ボタン設定 1] ~ [ADJ ボタン設定 5] を選択し、▶ を押す

**2** ▲▼ で機能を選択し、OK を押す



**3** **C** メニュー [動画ボタン] を [OFF] に設定する  
ADJモードが有効になります。



メモ

- ADJモードの使い方は、「ADJモードで設定する」(p.20) を参照してください。

## グリーンボタンの機能を変更する

グリーンボタンを押したときの機能を変更することができます。  
以下の機能から登録できます。

### 静止画

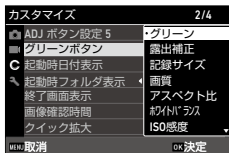
- ・グリーン [初期設定]
- ・露出補正
- ・記録サイズ
- ・画質
- ・アスペクト比
- ・ホワイトバランス
- ・ISO感度
- ・AF
- ・顔検出
- ・オートマクロ
- ・測光方式
- ・ハイライト補正
- ・シャドー補正
- ・シャープネス
- ・彩度/調色
- ・コントラスト
- ・アウトドアモニター

### 動画

- ・グリーン [初期設定]
- ・Movie SR
- ・Movie SR +
- ・ホワイトバランス
- ・AF
- ・顔検出
- ・露出補正
- ・シャープネス
- ・彩度/調色
- ・コントラスト
- ・アウトドアモニター

**1** **C** メニュー [グリーンボタン] を選択し、**▶** を押す

**2** **▲▼** で機能を選択し、**OK** を押す  
グリーンボタンの機能に変更されます。



### メモ

- ・電源をオンにしたときに現在のグリーンボタンの機能を表示することができます。**▶** メニュー [起動画面設定] を [ガイド表示付き起動画面] に設定します。(p.85)
- ・グリーンボタンに設定した機能は、撮影モードのときのみ有効です。

## 表示と音の設定

### 起動画面を設定する

電源をオンにしたときの画面表示は、▶ メニュー [起動画面設定] で設定します。

ガイド表示付き 起動画面	撮影モードを表示
RICOH	RICOH ロゴを表示
撮影画像	選択した撮影画像を表示
OFF	表示なし

### 起動時／終了時の表示情報を設定する

電源をオン／オフしたときの表示情報を C メニューで設定します。

起動時日付表示	電源をオンにして操作を行うまで、現在の日時を表示します。
起動時フォルダ 表示	電源をオンにして操作を行うまで、現在のフォルダ名とフォルダ内の画像数を表示します。
終了画面表示	電源をオフにしたときに、RICOH ロゴとその日に記録した画像の枚数（消去画像を除く）を表示します。

### ライブビューの表示を設定する

C メニューでライブビューの表示を設定します。

グリッドガイド 表示設定	グリッド線を表示するときの種類を [9 分割] [16 分割] から選択します。
水準器設定	水準器の表示を [OFF] [水平 + アオリ] [水平] から選択します。



#### メモ

- C メニュー [水準器キャリブレーション] を実行すると、現在のアオリ方向を基準として記憶します。

## 画像モニターの明るさを設定する

🔍 メニューで画像モニターの明るさを調節できます。

画像モニター輝度調節	画像モニターの明るさを設定します。
アウトドアモニター	屋外など画像モニターの表示が見にくいときに、明るさを調節します。

### ⚠️ 注意

- ・ [アウトドアモニター] を設定しているときは、 [画像モニター輝度調節] は変更できません。

5

## ランプを設定する

🔍 メニュー [電源ボタンランプ] で、電源をオンにしたときに、電源ボタンのランプを点灯させるかどうか設定ができます。

## 音量を設定する


🔍 メニューで音量を設定します。

操作音量	ボタンを操作するときの音量を設定します。
再生音量	再生時の音量を設定します。
サウンド	[起動音] [シャッター音] [操作音] [セルフタイマー音] を設定します。




## 省電力の設定

### 自動的に電源をオフにする


一定時間カメラを操作しなかったときに、自動的に電源をオフにします。 メニュー [オートパワーオフ] で電源をオフにするまでの時間を設定します。



#### メモ

- 以下のときは、[オートパワーオフ] は働きません。
  - SCN モード [インターバル撮影] /  モード撮影中
  - 動画/スライドショー再生中
  - 処理中
  - パソコン接続中
  - FlashAir 接続中

### 画像モニターの輝度を落とす

カメラを操作しなかったときに画像モニターの輝度を落とす、またはオフにします。 メニューで以下の設定できます。

エコモード	一定時間カメラを操作しなかったときに、画像モニターの輝度を落とし、バッテリーの消費を抑えます。輝度を落とすまでの時間を [5 秒] [15 秒] [30 秒] [1 分] [2 分] から設定します。
画像モニターオフ	一定時間カメラを操作しなかったときに、画像モニターをオフにします。オフにするまでの時間を [1 分] [5 分] [30 分] から設定します。

カメラを操作すると、元の輝度・表示に戻ります。



## メモ

---

- 以下のときは、[エコモード] は働きません。
  - SCN モード [インターバル撮影] / ■モード撮影中
  - Sモード
  - ■モード
  - メニュー表示中
  - ACアダプター使用中
- 以下のときは、[画像モニターオフ] は働きません。
  - SCN モード [インターバル撮影] 撮影中
  - 動画/スライドショー再生中
  - パソコン接続中

## GPS の設定

本カメラは GPS 機能を内蔵しており、GPS 衛星の情報を取得できます。

### 注意

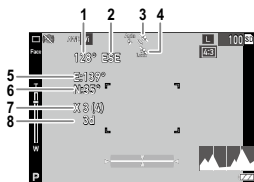
- GPS 機能をオンに設定すると、カメラの電源が切れているときも定期的に GPS 情報の取得が行われているため、バッテリーが消耗します。
- 電波を遮断／反射する場所など地理的状况によっては、GPS 情報が取得できない、または取得に時間がかかることがあります。
- 衛星の移動によって、GPS 情報が取得できなかつたり取得に時間がかかることがあります。
- 同じ周波数帯の電波を発生するものや、強い磁気を発生するものの付近では、GPS 情報が取得できなかつたり GPS 情報の精度が低下する場合があります。
- 前回の使用から長期間経過した場合や、長距離の移動があった場合は、GPS 情報の取得に時間がかかることがあります。
- 強い磁気を発生するものや磁気を遮断するものの付近では、正しい方位情報が取得できない場合があります。
- 電波塔などの周囲や強い静電気が発生している場所では、正常に機能しない場合があります。
- お使いの国や地域によっては、GPS の使用や位置情報の収集等が規制されている場合があります。海外旅行などで外国へ持ち込む場合は、GPS 機能付きカメラの持ち込みやログ収集等の制限がないか、事前に大使館や旅行代理店に確認してください。

## GPS 情報を表示する

GPS 機能を利用して、画像に位置情報を記録できます。

**C** メニュー [GPS] で設定するか、**GPS** (▶) 長押しでオン/オフを切り替えます。撮影モードのときに、1 秒ごとに GPS 情報を取得します。

取得した GPS 情報は、撮影モードの「詳細情報表示」(p.18) で確認できます。



1	電子コンパス情報
2	電子コンパス方位数値
3	GPS 受信状態
4	GPS ロック
5	経度
6	緯度
7	使用衛星数 (捕捉した可視可能衛星数)
8	測位品質 [no fix] : 受信不可 [2d] : NMEA-0183 フォーマットの GSA 測位モードが 2d のとき [3d] : NMEA-0183 フォーマットの GSA 測位モードが 3d のとき [Diff] : NMEA-0183 フォーマットの GGA クオリティが DGPS のとき



## メモ

- 画面に表示する GPS 情報の規格は、**C** メニュー [GPS 表示モード] で設定します。

LAT/LON	緯度・経度を表示します。
UTM	ユニバーサル横メルカトル図法の座標で表示します。
MGRS	軍事用情報の座標を表示します。

- 画像に記録された位置情報の詳細は、再生モードの「詳細情報表示」(p.18) で確認できます。
- 受信した GPS 情報を保持したい場合は、**C** メニュー [GPS ロック] を [ON] に設定します。撮影画面で **▶** を押すと、GPS 情報がロックされ、もう一度 **▶** を押すとロックが解除されます。

## 日時設定を自動補正する

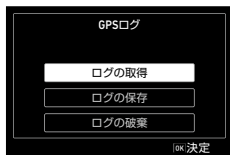
**C** メニュー [GPS 自動時計補正] を [ON] に設定すると、GPS 情報をもとにカメラの日時設定が補正されます。

## 移動経路を記録する

GPS の位置情報を利用して、移動経路を記録します。

**1** **C** メニュー [GPS ログ] を選択し、**▶** を押す  
[GPS ログ] 画面が表示されます。

**2** [ログの取得] で **OK** を押す



### 3 [記録間隔] [記録時間] を設定する



記録間隔	[1 秒] ~ [60 秒] から選択します。
記録時間	[1] ~ [24] 時間で設定します。

### 4 [開始] を選択し、**OK** を押す

ログの記録が開始されます。

記録を停止するときは [停止] を選択します。

設定した記録時間が経過すると、記録が終了します。



#### 注意

- ログ記録中に **SCN** モード [インターバル撮影] [インターバル動画] で撮影しようとするすると警告のメッセージが表示され、撮影できません。
- 以下のときは、ログの間隔がずれることがあります。
  - カメラの電源オン/オフ時
  - 新たな衛星の情報を取得しているとき
- [記録時間] で設定できる時間は、[記録間隔] によって異なります。また、[記録時間] で設定した時間よりも 1 分程度長くデータを取得する場合があります。

## ログを保存する

記録したログは、メモリーカードに保存できます。

**1** p.91 の手順 2 の画面で [ログの保存] を選択し、▶ を押す

**2** [NMEA] [KML] を選択し、OK を押す

ログファイルが、メモリーカード直下の「GPSLOG」フォルダーに、001～999 の連番と月日（例：001\_0505）のファイル名で保存されます。



### メモ

- ・ログファイルは、対応するソフトウェアを使用してパソコンで確認してください。
- ・ログファイルを削除するときは、手順 2 の画面で [ログの破棄] を選択します。☞ メニュー [初期化 [カード]] では、削除されません。



### 注意

- ・メモリーカードが記録できない状態のときは、ログファイルは保存できません。
- ・GPS 情報が測位できていないときは、ログファイルは保存されません。

## 方位情報を設定する

撮影画面に表示する方位情報は、C メニューで設定します。

コンパス表示	表示する情報を選択します。
コンパスキャリブレーション	コンパスの調整を行います。 カメラを片手でしっかりと持ち、ゆっくりと大きく 8 の字を描くように動かします。「ピッ」という操作音が鳴ったら、完了です。
コンパス偏角補正	[TRUE] [MAG] から選択します。 GPS 情報が取得できていないときは、[TRUE] の情報は表示されません。

## GPS 情報を写し込む

受信した GPS 情報を、画像の右下に写し込むことができます。C メニュー [入力撮影] で設定します。

GPS 入力撮影	写し込む GPS 情報の規格を選択します。
UTC 入力撮影	協定世界時を写し込みます。 📷 メニュー [日付写し込み] は無効になります。
コンパス入力撮影	方位情報を写し込みます。



### 注意

- 写し込んだ GPS 情報は削除できません。
- 以下のときは、GPS 情報を写し込むことはできません。
  - SCN モード [マーメイドムービー] [ハイスピードカメラ]
  - 📷 モード
  - [ドライブモード] の [高速連写] [M 連写] [S 連写]



## 画像管理に関する設定

### フォルダー／ファイルを設定する

フォルダー名とファイル名は初期設定では、以下の名前が自動的に付きます。

フォルダー名	100RICOH ~ 999RICOH
ファイル名	R0000001.JPG ~ R09999999.JPG

ファイル名の番号が R0\*\*9999 を超えると次のフォルダーが作成され、ファイル番号は R0\*\*0001 になります。フォルダー番号が 999 のときは、ファイル番号が R0\*\*9999 を超えると、そのメモリーカードでは記録できなくなります。

フォルダー名／ファイル名の付け方は、変更することができます。

### フォルダ作成設定

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100 ~ 999 の連番と 5 文字の文字列が付きます。

フォルダー名の文字列を変更することができます。

**1** **↖** メニュー [フォルダ作成設定] を選択し、**▶** を押す

**2** **▲▼** で選択する

標準	100RICOH ~ 999RICOH
日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が 4 桁で付きます。 月日は <b>↖</b> メニュー [日時設定] の表示スタイルに準じます。 例) 101_0125 . . . 1 月 25 日に撮影
ユーザー	フォルダー番号の後ろに任意の 5 文字が付きます。 (初期設定 : RICOH) 例) 101RICOH

[標準] [日付] を選択した場合は、手順 6 へ進みます。

- 3** [ユーザー] を選択し、▶ を押す  
文字を入力する画面が表示されます。

- 4** フォルダー名を入力する  
半角 5 文字以内で英数字を入力します。

文字入力カーソル



5

設定を変更する

▲▼◀▶	文字選択カーソル（黄色枠）を移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字を入力

- 5** 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを ← まで移動し、**OK** を押す

- 6** [実行] を選択し、**OK** を押す



メモ

- ・フォルダー名を変更すると、次の撮影時に新たな番号のフォルダーが作成されます。



注意

- ・フォルダー番号は最大 999 番です。999 番フォルダーが作成済みのときに、フォルダー名の変更を行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が 9999 に達したときも、撮影ができなくなります。

## ファイル名変更設定

ファイル名の先頭には、標準で「R001」の文字列が付きます。  
この文字列を任意の文字列に変更することができます。

- 1 **☷** メニュー [ファイル名変更設定] を選択し、**▶** を押す
- 2 [ユーザー] を選択し、**▶** を押す
- 3 文字列を指定する  
アルファベット大文字と数字、「\_」が指定できます。



▲▼◀▶	文字選択カーソル（黄色枠）を移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字を入力

- 4 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを **←** まで移動し、**OK** を押す

## ファイル連続 No.

メモリーカードを入れ替えたときに、ファイル番号を継続するかどうかを、**☷** メニュー [ファイル連続 No.] で、設定できます。

ON	メモリーカードを入れ替えてもファイル番号を継続します。
OFF	メモリーカードを入れ替えると、ファイル番号をリセットします。

## ファイル番号リセット

メニュー [ファイル番号リセット] を実行すると、新たな番号のフォルダーが作成され、ファイル番号が 0001 から開始されます。



### メモ

- ・メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーのファイル番号がリセットされます。
- ・メニュー [ファイル連続 No.] の設定によって、以下のファイル番号に達するとフォルダーが新規作成されてファイル番号が自動的にリセットされます。

ファイル連続 No.	ファイル番号リセットのタイミング
ON	ファイル番号 9999999
OFF	ファイル番号 9999

5

## 著作権情報を設定する

画像の Exif データに記録する著作権者の情報を設定します。

**1** メニュー [著作権情報の添付] を選択し、▶ を押す

**2** [ON] [OFF] を選択し、OK を押す

**3** [著作権情報] を選択し、▶ を押す  
文字を入力する画面が表示されます。


**4** 著作権者名を入力する

半角 32 文字以内で英数字・記号を入力します。

文字入力カーソル




▲▼◀▶	文字選択カーソル (黄色枠) を移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字を入力

- 5** 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを ← まで移動し、**OK** を押す
-  メニューに戻ります。
- 入力した文字列の 11 文字分が表示されます。

**メモ**



- ・著作権情報は、再生モードの「詳細情報表示」(p.18) で確認できます。

**著作権情報を写し込む**

著作権情報を画像の下側に写し込むことができます。 メニューで設定します。

著作権情報印字設定	[ON (上書き)] [ON (新規)] [OFF] から選択します。
著作権情報印字位置	[左] [中] [右] から選択します。
著作権情報文字サイズ	[大] [中] [小] から選択します。
著作権情報の色	[橙] [白] [黒] [赤] [青] [緑] [黄] から選択します。

**注意**

- ・写し込んだ著作権情報は削除できません。
- ・以下のときは、著作権情報を写し込むことはできません。
  - ・ **SCN** モード [マーメイドムービー] [ハイスピードカメラ]
  - ・  モード
  - ・ [ドライブモード] の [高速連写] [M 連写] [S 連写]
  - ・  メニュー [著作権情報] を設定していないとき
- ・ [著作権情報文字サイズ] を [大] [中] に設定したときは、文字列の一部が印字されないことがあります。

## 目的地の日時を記録する

「初期設定」(p.35) で設定された日時は、現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地の日時を設定すると、海外で使用するときに目的地の日時を記録できます。

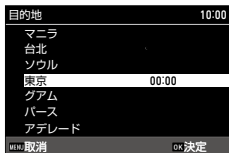
- 1 **メニュー** [ワールドタイム] を選択し、**▶** を押す  
[ワールドタイム] 画面が表示されます。

- 2 [時刻切替] で [目的地] を選択する  
現在地の日時に戻すときは [現在地] を選択します。



- 3 [目的地] で **▶** を押し、夏時間を設定する  
設定する都市が夏時間を採用している場合は [DST] を選択します。

- 4 都市名の行で **▶** を押し、目的地の都市を選択する  
75 都市から選択できます。



- 5 **OK** を押す

- 6 **メモ** -----
  - ・ **メニュー** [設定初期化] を行っても、[現在地] [目的地] の設定は初期化されません。

## 別売り品の取り付け

### ワイドコンバージョンレンズ

ワイドコンバージョンレンズ (DW-5) を取り付けると、レンズ倍率を 0.8 倍 (35mm 換算で広角側 22mm 相当) で撮影ができます。

ワイドコンバージョンレンズを使用するときは、**C** メニュー [コンバージョンレンズ] を [WIDE] に設定します。詳細は、製品に付属の使用説明書を参照してください。



#### メモ

- ・レンズには、市販の 37mm 径のフィルターが取り付けられます。レンズの傷や結露防止に有効です。
- ・**C** メニュー [コンバージョンレンズ] を [WIDE] に設定すると、その情報が Exif に記録されます。



#### 注意

- ・**C** メニュー [コンバージョンレンズ] を [WIDE] に設定すると、設定できる機能が制限されます。

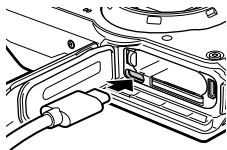
## ACアダプター

長時間使用するときは、ACアダプター（K-AC166J）を使用することをお勧めします。

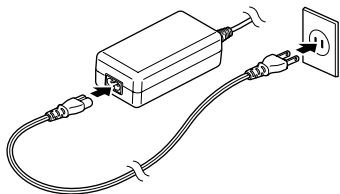
**1** カメラの電源がオフになっていることを確認し、バッテリー／カードカバーを開ける

**2** バッテリーを取り出す

**3** カメラのUSB端子にACアダプターのUSB Type-Cケーブルを接続する



**4** ACアダプターにACコードを接続し、コンセントに差し込む



**5** カメラの電源をオンにする

### **注意**-----

- ・バッテリー／カードカバーを開閉するときは、カメラに付着した水や砂などの汚れを確実に除去し、汚れが入りやすい場所を避けて使用してください。
- ・電源プラグやACコードは、しっかりと差し込んでください。
- ・カメラを使用しないときは、ACアダプターをカメラや電源コンセントから抜いてください。
- ・カメラの使用中にACアダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- ・ACアダプターの使用中は、ACアダプターのケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- ・国や地域によっては、使用できない場合があります。



## 困ったときは




### 電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない	バッテリーがセットされていない	バッテリーを充電し、正しくセットしてください。	p.33
	バッテリー消耗している		
	バッテリーの挿入方向が違う		
	使用できないバッテリーを使用している	専用バッテリー DB-110を使用してください。	—
	ACアダプターが正しく接続されていない	正しく接続してください。	p.102
電源が途中で切れる	操作しない時間が続いたため、[オートパワーオフ] が働いた	電源を入れ直してください。	p.35
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.33
電源がオフにならない	カメラの誤作動	バッテリーをセットし直してください。	p.31
十分に残量があるバッテリーなのに、残量が少ないマークが表示される、または電源がオフになる	使用できないバッテリーを使用している	専用バッテリー DB-110を使用してください。	—
バッテリーが充電できない	バッテリーの寿命	新しいバッテリーに交換してください。	—
	バッテリーが高温になっている	バッテリーを常温まで冷ましてください。	—

症状	原因	処置	参照先
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低いところや高いところで使用している	—	—

## 撮影

症状	原因	処置	参照先
SHUTTER を押しても撮影できない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.33
	電源が入っていない、または撮影モードになっていない	電源をオンにするか、SHUTTER を押して撮影モードにしてください。	p.35
	メモリーカードが初期化されていない	メニュー [初期化 [カード]] を実行してください。	p.37
	メモリーカードに空き容量がない	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットしてください。	p.71
	メモリーカードの寿命	新しいカードをセットしてください。	—
	メモリーカードが「LOCK」されている	書き込み禁止を解除してください。	—
	メモリーカードの接触面が汚れている	乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
撮影画像を確認できない	画像確認時間が短い	メニュー [画像確認時間] を変更してください。	p.38

症状	原因	処置	参照先
画像モニターに映らない	画像モニターが暗い	 メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.86
	画像モニターがオフになっている	 を押して、画像モニターをオンにしてください。	p.18
	AV 機器と接続している	ケーブルを取り外してください。	p.70
オートフォーカスなのにピントが合わない	レンズが汚れている	乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない	フォーカスロックで撮影してください。	—
	ピントが合いにくい被写体である	フォーカスロック、または [MF] で撮影してください。	p.52
	被写体との距離が近すぎる	[マクロ] で撮影するか、被写体から離れて撮影してください。	p.50
手ぶれになる	 を押したときに、カメラが動いた	両肘を身体に付けて構えたり、三脚を使用して撮影してください。	—
	薄暗い場所で、手ぶれしやすくなる	フラッシュを使用するか、[ISO 感度] を高く設定してください。	p.55 p.53
フラッシュが発光しない フラッシュの充電ができない	フラッシュが使用できない機能を選択している	設定やモードを確認してください。	—
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.33

症状	原因	処置	参照先
画像が明るすぎる	フラッシュの光量が適切でない	被写体から少し離れて撮影してください。 または、被写体に照明などを当ててフラッシュを使用しないで撮影してください。	—
	画像モニターの明るさが適切でない	<b>M</b> メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.86
画像が暗すぎる	画像モニターの明るさが適切でない	<b>M</b> メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.86
	露出補正がマイナスに設定されている	露出補正を変更してください。	p.44
画像が自然な色合いにならない	オートホワイトバランスで調整しにくい状況で撮影している	被写体に白色系のものを入れて撮影するか、[ホワイトバランス] を [オートWB] 以外に設定してください。	p.57
AF 動作中、画像モニターの明るさが変化する	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している	故障ではありません。	—
電子水準器が表示されない	電子水準器が表示されない設定になっている	<b>C</b> メニュー [水準器設定] を確認してください。	p.85
電子水準器の目盛りが中央を指している状態で撮影したのに、画像が傾いている	乗り物に乗っているなど、動いている状態で撮影している 被写体自体が傾いている	停止している状態で撮影してください。 被写体を確認してください。	—

症状	原因	処置	参照先
日付などの記録情報が表示されない	画面表示が「情報表示なし」になっている	<b>OK</b> を押して表示を切り替えます。	p.18
再生できない 再生画面が出ない	AV 機器と正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続し直してください。	p.70
AV 機器に映らない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続し直してください。	p.70
	AV 機器の入力切り替えが間違っている	AV 機器の設定を確認してください。	—
メモリーカードが再生できない 再生画面が出ない	本カメラで初期化していないメモリーカードを再生した	本カメラで <b>メニュー</b> [初期化 [カード]] を実行したメモリーカードをセットしてください。	p.37
	メモリーカードの接触面が汚れている	乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
	使用中のメモリーカードに異常がある	別のメモリーカードが再生できれば、カメラは問題ありません。異常があるカードは使用しないでください。	—
画面が消えた	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.33
	操作しない時間が続いたので、[オートパワーオフ] が働いた	電源を入れ直してください。	p.35
ファイルを削除できない	[プロテクト] が設定されている	<b>メニュー</b> [プロテクト] で解除してください。	p.73
	メモリーカードが「LOCK」されている	書き込み禁止を解除してください。	—
メモリーカードが初期化できない	メモリーカードが「LOCK」されている	書き込み禁止を解除してください。	—

## その他

症状	原因	処置	参照先
メモリーカードが入らない	挿入方向が違う	正しくセットしてください。	p.31
カメラのボタンを操作しても作動しない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.33
	カメラの誤作動	電源を入れ直してください。 バッテリーをセットし直してください。 ACアダプター使用時は接続し直してください。	p.35 p.31
日付が正しくない	正しい日付・時刻が設定されていない	☛メニューで設定し直してください。	p.36
設定した日付が消えてしまった	バッテリーを抜いてしまった	バッテリーを取り出した状態が約5日間以上続くと、日付がリセットされます。 ☛メニューで設定し直してください。	p.36

## エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
容量不足です	容量いっぱいファイルが保存されていて、これ以上ファイルが保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要なファイルを消去してください。(p.71)
画像がありません	再生できるファイルが保存されていません。
表示できないファイルです	本カメラで再生できないファイルを再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが異常です。	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードを初期化してください。	初期化されていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使用したメモリーカードがセットされています。本カメラで初期化してから使用してください。(p.37)
カードがロックされています。	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。
ファイルを記録できません。	記録先が内蔵メモリーのときに、 <b>■</b> メニュー [記録サイズ] が [4K 30fps] の動画を撮影しようとした場合に表示されます。 [記録サイズ] を変更するか、メモリーカードをセットしてください。(p.63)
使用できないカードです。	本カメラが対応していないメモリーカードがセットされています。
日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。(p.36)
容量不足です。コピーしますか。	<b>▶</b> メニュー [画像コピー] で容量が不足しているため、すべてのファイルをコピーできません。他のメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。
プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	プロテクトされたファイルを消去しようとしています。プロテクトを解除してください。(p.73)

エラーメッセージ	内容
内蔵メモリーを初期化してください。	内蔵メモリーを初期化する必要があります。(p.37)



# 主な仕様

## カメラ本体

レンズ		RICOH レンズ 9 群 11 枚 (非球面レンズ 5 枚 使用)
	焦点距離	5 ~ 25mm
	35 ミリ判換算値	約 28 ~ 140mm
	開放絞り	F3.5 (W) ~ F5.5 (T)
ズーム	光学ズーム	5 倍
	デジタルズーム倍率	約 8.1 倍
	インテリジェントズーム	10M 時:約 7 倍、640 時:約 40.5 倍 (光学ズームと合わせたズーム倍率)
手ぶれ軽減	静止画	電子式手ぶれ補正 高感度によるぶれ軽減 (高感度モード)
	動画	電子式 (Movie SR、Movie SR+)
フォーカス	AF 方式	9 点マルチ/スポット/自動追尾
	撮影距離範囲 (レンズ先端から)	標準: 0.5m ~ ∞ (ズーム全域) マクロ: 0.1 ~ 0.6m (ズーム全域) 1cm マクロ: 0.01 ~ 0.3m (ズーム域の中間部) 無限遠、パンフォーカス、マニュアルフォーカス切り替え可
有効画素数		約 2000 万画素
撮像素子		1/2.3 型 CMOS
記録画素数	静止画	サイズ: L (20M)、M (10M)、S (5M)、XS (3M)、2M、1M、VGA ・ ( ) 内は、アスペクト比 4:3 時 ・ 2M、1M は <b>CALS</b> モードのみ アスペクト比: 4:3、3:2、1:1 ・ <b>CALS</b> モード時は、4:3 固定
	動画	4K、1920、1280
感度 (標準出力感度)		オート、マニュアル (ISO 125 ~ 6400)

ホワイトバランス		オート、太陽光、日陰、曇天、白熱灯、蛍光灯 (D: 昼光色、N: 昼白色、W: 白色、L: 電球色)、リングライト、マニュアル
画像モニター	形式	3.0型 約104万ドットLCD、ARコート(カバーのみ)
	調整	明るさ、アウトドアモニター: ±2ステップ
露出制御	測光方式	分割測光、中央重点測光、スポット測光
	露出補正	±2EV (1/3EVステップ)
撮影モード		オートピクチャー、プログラム、HDR、手持ち夜景、動画、ハイスピードカメラ、デジタル顕微鏡、風景、花、ポートレート、マーメイド、マーメイドムービー、インターバル撮影、インターバル動画、サーフ&スノー、キッズ、ペット、スポーツ、夜景、花火、高感度、CALs、グリーン、被写界深度合成
顔検出		最大30人まで検出可、スマイルキャッチ、自分撮りアシスト、自分撮りアシスト+スマイルキャッチ、まばたき検出
ペット検出		1匹(オート)
再生モード		スライドショー、回転、小顔フィルター、魚拓フィルター、デジタルフィルター(白黒/セピア、トイカメラ、レトロ、カラー、色抽出、色強調、ハイコントラスト、トゥインクル、ソフト、フィッシュアイ、明るさ、ミニチュア)、HDRフィルター、動画編集、赤目補正、リサイズ、トリミング、画像コピー、プロテクト、起動画面設定、ファイル復元、画像の自動回転
シャッタースピード		1/4000~1/4秒(メカニカルシャッターと電子シャッターの併用)、最長4秒(夜景モード)

内蔵フラッシュ	発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、自動発光＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減
	調光範囲	ワイド：約 0.2 ～ 5.5m (感度オートの条件において) テレ：約 0.2 ～ 3.5m (感度オートの条件において)
ドライブモード		1 コマ、セルフタイマー、連続撮影、高速連写、M 連写、S 連写、リモコン、オートブラケット
記録媒体		内蔵メモリー (約 27MB) SD / SDHC / SDXC メモリーカード FlashAir カード
電源		充電式バッテリー DB-110、AC アダプターキット K-AC166J (別売)
	電池寿命	静止画撮影：約 340 枚 (専用バッテリー使用)*1 ・満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23℃、撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。 再生時間：約 260 分 (専用バッテリー使用)*2
外部インターフェイス		USB3.0 (Type-C)、HDMI 出力端子 (タイプ D)
防水/防塵性能		JIS 保護等級 8 級 / JIS 保護等級 6 級
外形・寸法		約 118.2 (幅) × 65.5 (高) × 33.1 (厚) mm (操作部材、突起部を除く)
質量 (重さ)		約 246g (電池、SD メモリーカード含む) 約 219g (本体のみ)
付属品		充電式バッテリー DB-110、USB 電源アダプター、電源プラグ、USB ケーブル、ハンドストラップ、マクロスタンド
対応言語		英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、イタリア語、オランダ語、日本語、デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、トルコ語、ギリシャ語、ロシア語、タイ語、韓国語、中国語 (繁体字、簡体字)

<b>GPS</b>	GPS、GLONASS、QZSS (みちびき) + SBAS GPS 表示モード : LAT/LON、UTM、MGRS GPS ロック、GPS 自動時計補正、GPS ログ、 GPS 入力撮影、UTC 入力撮影
<b>電子コンパス</b>	コンパス表示 : 方位、度数、方位 度数 コンパス偏角補正、コンパス入力撮影
<b>Web カメラ機能</b>	USB Video Class 1.1 準拠

- \*1 撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA 規格抜粋 : 液晶モニター ON、フラッシュ 使用率 50%、23℃)
- \*2 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

## USB 電源アダプター AC-U1

<b>電源</b>	AC 100 ~ 240V (50/60Hz) 0.2A
<b>出力</b>	DC 5.0V、1000mA
<b>使用温度</b>	10 ~ 40℃
<b>外形寸法</b>	42.5mm × 22mm × 66.5mm (電源プラグ含まず)
<b>質量</b>	約 40g (電源プラグ含まず)

## 充電式バッテリー DB-110

<b>公称電圧</b>	3.6V
<b>定格容量</b>	1350mAh、4.9Wh
<b>使用温度</b>	0 ~ 40℃
<b>保存温度</b>	-10 ~ 45℃
<b>本体外形寸法</b>	39.8mm × 34.2mm × 8.5mm
<b>質量</b>	約 26g

## 記録可能枚数／時間

内蔵メモリー／メモリーカードのフォーマット別の記録可能枚数／時間（秒）の目安は、以下のとおりです。

	記録サイズ	アスペクト比	内蔵メモリー			メモリーカード (8GB)		
			☆☆☆	☆☆	☆	☆☆☆	☆☆	☆
静止画	L	4:3	3	6	9	936	1616	2537
		3:2	3	6	10	1053	1815	2843
		1:1	4	8	12	1242	2145	3324
	M	4:3	7	12	18	1858	3189	4917
		3:2	7	13	20	2088	3522	5488
		1:1	9	15	24	2458	4140	6378
	S	4:3	11	22	31	3146	5900	8138
		3:2	13	25	35	3522	6556	9077
		1:1	15	29	40	4214	7867	10728
	XS	4:3	18	34	45	4816	9077	11801
		3:2	20	37	51	5364	9834	13112
		1:1	27	48	63	7152	12422	16858
	2M	4:3	28	51	66	7613	13112	16858
	1M	4:3	35	59	77	9077	15734	19668
	VGA	4:3	137	223	297	33717	59005	78673
3:2		148	255	297	39336	59005	78673	
1:1		178	297	357	47204	78673	78673	

6

付録

	記録サイズ	フレームレート	内蔵メモリー	メモリーカード (8GB)
動画	3840	30fps	—	00:10:19
	1920	30fps	00:00:06	00:52:04
	1280	60fps	00:00:06	00:52:04
		30fps	00:00:14	01:26:04
		120fps	00:00:02	00:32:41

## 注意

- 動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間の目安です。1回の撮影で記録可能な動画は、最大 25 分または最大 4GB までです。
- 画像モニターに表示される残り記録枚数は、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数や動画の記録時間は、記録先の容量や撮影条件などによって異なる場合があります。
- 動画の記録／再生で動作保証されるメモリーカードは、以下のとおりです。

記録サイズ／撮影モード	メモリーカードの スピードクラス
4K 30fps	UHS スピードクラス 3 以上
FullHD 30fps、HD 60fps <b>SCN</b> モード [ハイスピードカメラ]	スピードクラス 4 以上
HD 30fps	スピードクラス 2 以上

- 動作保証外のメモリーカードを使用して動画を撮影した場合、書き込みが間に合わなくなった時点で撮影が停止します（停止した時点までの動画が記録されます）。また再生時は、音声がずれて再生されず。

## 動作環境

本カメラとの USB 接続は、以下の OS で動作を確認しています。

Windows®	Windows® 10 (FCU / CU) (32bit / 64bit) / Windows® 8.1 (32bit / 64bit)
Mac	macOS 11 Big Sur / macOS 10.15 Catalina

## 海外でお使いのときは

### USB 電源アダプター (AC-U1) / AC アダプター (K-AC166J) / バッテリー充電器 (BJ-11) について

交流 100 ~ 240V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。  
使用する国の電源コンセントに合った形状の変換アダプターを、あらかじめご用意ください。  
電子式変圧器は使用しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

### 保証について

本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。  
海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

### 現地のテレビで再生する場合

映像入力端子付きのテレビやモニターで再生できます。市販の HDMI® ケーブルをご使用ください。HDMI® ケーブルは、3m 以下の長さのものを使用してください（推奨品：ELECOM 社製 CAC-HD14EU15BK）。RICOH HDMI ケーブル HC-1 は使用できません。

## 使用上のご注意

### 防水・防塵機能について

- ・本カメラは、JIS/IEC 防水保護等級 8 級、JIS/IEC 防塵保護等級 6 級 (IP68) に対応しています。
- ・雨中撮影や水洗いした後に、レンズ部の鏡筒部と底面の三脚ネジ部から水がしみ出てくる場合がありますが、この部分は二重構造になっているため、心配ありません。
- ・カメラ内部は、防水・防塵構造になっていません。万一カメラ内部に浸水したときは、すぐにバッテリーを抜き取り、修理受付センターにご連絡ください。

### カメラ本体

- ・本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- ・海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- ・バッテリー／カードカバーを開閉する場合は、カメラに付着した水滴や砂、泥、ほこりなどの汚れを確実に除去し、内部に入らないよう注意してください。また、海水や砂が入ることがあるため、浜辺、海上、砂地では本機の開閉はできるだけ避けてください。
- ・バッテリー／カードカバーを開閉する場合は、軍手をしたままで操作しないでください。軍手に付着した砂やほこりなどの汚れがカメラ内部に入ることがあります。またカメラに付着した水、砂、泥などの汚れを確実に除去し、これらの汚れが入りやすい場所を避けて開閉してください。
- ・カバーを開けたときは、内部に水滴がついていることがあります。きれいに拭き取ってからご使用ください。
- ・モードダイヤルは防水構造のため、長い時間放置しておくとう動作が重くなることがあります。数回動作させると元に戻ります。
- ・砂浜やほこりの多いところ（工事現場等）では、砂やほこりがカメラにつかないよう十分に注意してください。
- ・密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がることや湿度の高いところにカメラを放置しないでください。
- ・AC アダプター（別売り）は、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。
- ・バッテリー／カードカバーを無理に引っ張らないでください。
- ・バッテリー／カードカバーを持ってカメラを持ち上げないでください。
- ・カメラ内部に異物（金属、水、液体）が入ったときは、すぐに使用をやめてください。次に電源を切ってバッテリーとメモリーカードを取り出し、お買い上げ店または修理受付センターにご相談ください。
- ・寒冷地では、カメラに水滴が付着していると凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。



- ・カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- ・カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようにしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- ・フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- ・火傷や発火の原因になりますので、フラッシュ発光部に触れたり、物を密着させたままフラッシュを発光しないでください。
- ・視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- ・事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- ・カメラを長時間連続使用した後は、すぐにバッテリーを取り出さないでください。
- ・画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなる場合があります。
- ・画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・画像モニターを強く押さないでください。
- ・温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。結露が発生した場合は、カメラからバッテリーとメモリーカードを取り出し、水滴が消えるまで待つてから使用してください。
- ・故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針などを通さないでください。
- ・大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださいとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯などをお勧めいたします。



### 結露の発生しやすい状態

- ・ 急激な温度差のあるところに移動したとき
- ・ 湿気の多いとき
- ・ 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接当たるとき

## USB 電源アダプター AC-U1

- ・ USB ケーブルは、同梱品をご使用ください
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは使用しないでください。

- ・直射日光の当たるところや、高温になるところで使用しないでください。
- ・充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- ・充電式バッテリーの接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ・使用温度範囲は 10 ~ 40℃ です。10℃以下でご使用になると、充電が長時間になる場合があります。

## 充電式バッテリー DB-110

- ・このバッテリーはリチウムイオンタイプです。
- ・出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- ・火災および火傷の危険がありますので、バッテリーを開けたり、潰したりしないでください。また、60℃を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。
- ・寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されているバッテリーを使用していても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、充電器から取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラからバッテリーを取り出して 5 日間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定してください。
- ・長期間保存する場合は、年に 1 回、15 分程度充電した後、保存してください。
- ・涼しいところで保存してください。周囲の温度が 15 ~ 25℃の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。
- ・充電が完了したバッテリーをすぐに再充電しないでください。
- ・充電は周囲の温度が 10 ~ 40℃の温度範囲で行ってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させるおそれがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- ・十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命ですので、新しいバッテリーをお求めください。交換バッテリーは、必ず弊社推奨のバッテリーをお使いください。
- ・AC-U1 を使用したカメラ本体での充電時間は、約 3 時間 (25℃) です。



### 注意

- ・指定以外のバッテリーを使用した場合、破裂のおそれがあります。
- ・使用済みのバッテリーは電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。

## お手入れと使用／保管場所について

### お手入れ

- ・レンズに指紋や汚れが付くと、画質が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。
- ・レンズにゴミや汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のプロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・本機が汚れたときや海辺で使用した後は、バッテリー／カードカバーが確実に閉まっていることを確認し、洗面器などにためた水道水で汚れ、砂、塩分を落とし、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- ・ゴムパッキンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。ゴムパッキンに異物が付着していたり、キズ等があると防水機能を保てず水漏れの原因になります。汚れが落ちないときやキズ等があるときは、お買い上げ店または修理受付センターに新しいゴムパッキンとの交換を依頼してください。
- ・万一カメラの具合が悪いときは、修理受付センターにご相談ください。
- ・このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- ・シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・画像モニターの表面は、傷つきやすいので、硬い物でこすったりしないでください。
- ・画像モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていない物）を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

### 使用／保管場所について

- ・以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
  - 高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 振動の激しいところ
  - 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
  - 強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- ・カメラにゴミやほこりが付着しないよう、ゴミ、ケバの発生しないカメラケースなどに入れて保管してください。また、持ち運ぶ際はゴミ、ケバの付着を防止するため、ポケットなどに直接入れないでください。
- ・長時間本カメラをご使用にならないときは、バッテリーを取り出して保管してください。

## ゴムパッキンの交換について

- 防水効果を維持するため、ゴムパッキンは汚れ、異常の有無にかかわらず、2年ごとに交換してください。頻繁に水、砂、ほこりの中で使用する場合は、1年ごとの交換をお勧めします。ゴムパッキンの交換は、修理受付センターでお引き受けいたします（有料）。

## お手入れ時のご注意

- 必ず電源をオフにしてください。
- バッテリーや AC アダプターを取り外して、お手入れしてください。

## アフターサービスについて

1. 本カメラが万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. 次の場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
  - ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
  - ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解解除などによる故障
  - ③ 火災、天災、地震、落雷、異常電圧などによる故障
  - ④ バッテリー／カードカバーを開けた状態で、浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
  - ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
  - ⑥ 保証書の添付のない場合
  - ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。  
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本カメラの補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われる物などは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
13. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

### 修理にお出しになる前

- ・ バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ・ ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

### 修理にお出しになる際

- ・ 故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- ・ 修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

# 索引

## 英数字

1cm マクロ.....	50
1 画像表示.....	39
AC アダプター.....	102
ADJ ボタン.....	20
ADJ ボタン設定.....	83
ADJ モード.....	20
AF.....	51
AF 補助光.....	51
AUTO モード.....	38
AV 機器.....	70
CALS 画質.....	40
CALS 画素数.....	40
CALS モード.....	40
D-Range 設定.....	66
Exif.....	98
FlashAir.....	32
Fn ボタン.....	21
GPS.....	90
GPS 自動時計補正.....	91
GPS 入力撮影.....	94
GPS 表示モード.....	91
GPS ログ.....	91
GPS ロック.....	91
HDMI®.....	70
HDR (シーン).....	42
HDR (動画).....	63
HDR フィルター.....	77
ISO 感度.....	54
LAT/LON (GPS).....	91
MF (フォーカス).....	52
MGRS (GPS).....	91
Movie SR.....	66
M 連写.....	60
PF (フォーカス).....	50
P モード.....	40
SCN モード.....	42
SD メモリーカード.....	31
S 連写.....	60
USB ケーブル.....	74

USB 接続.....	74
USB 電源アダプター.....	33
USER 設定登録.....	81
USER モード.....	81
UTC 入力撮影.....	94
UTM (GPS).....	91
UVC.....	48
Web カメラ.....	48

## あ

アウトドアモニター.....	86
赤目軽減 (フラッシュ).....	55
赤目補正.....	80
鮮やか (画像仕上).....	64
アシスト (顔検出).....	51
アスペクト比.....	63
アフターサービス.....	123
位置情報.....	90
移動経路.....	91
インターバル撮影 (シーン).....	42
インターバル動画 (シーン).....	42
インテリジェントズーム.....	39
エコモード.....	87
オート WB (ホワイトバランス).....	57
オートパワーオフ.....	87
オートブラケット.....	62
オートマクロ.....	50
オートモード.....	38
お手入れ.....	121
音量.....	86

## か

カーソル位置保持.....	23
カード.....	31
階調補正.....	66
回転.....	69
ガイド表示.....	43
顔検出.....	51
拡大表示.....	39
加工.....	75
画質.....	63
カスタマイズ.....	83
カスタマイズメニュー.....	27

風切音低減.....	63	彩度.....	65
画像確認時間.....	38	サウンド.....	86
画像コピー.....	72	撮影設定メニュー.....	24
画像仕上.....	64	撮影モード.....	40
画像の自動回転.....	69	シーンモード.....	42
画像モニター.....	16	シャープネス.....	65
画像モニターオフ.....	87	シャドー補正.....	66
画像モニター輝度調節.....	86	充電.....	33
カメラ設定ファイル.....	82	終了画面表示.....	85
カレンダー表示.....	67	仕様.....	111
感度.....	54	消去.....	39,71
感度 AUTO 調整範囲.....	54	省電力.....	87
キッズ (シーン).....	42	初期化.....	37
起動画面設定.....	85	初期化設定.....	23
起動時日付表示.....	85	初期設定.....	35
起動時フォルダー表示.....	85	ズーム.....	39
強制発光 (フラッシュ).....	55	水準器キャリブレーション.....	85
魚拓フィルター.....	77	水準器設定.....	85
記録可能枚数.....	34, 115	ストリーム連写.....	60
記録サイズ.....	63	スポーツ (シーン).....	42
クイック拡大.....	39	スポット (測光方式).....	53
クイックビュー.....	38	スポット (AF).....	51
グリーンボタン.....	21, 84	スマイル (顔検出).....	51
グリーンモード.....	41	スライドショー.....	68
グリッドガイド表示設定.....	85	静止画保存.....	78
蛍光灯 (ホワイトバランス).....	57	設定初期化.....	23
言語設定.....	36	セットアップメニュー.....	29
光学ズーム.....	39	セルフタイマー.....	59
高感度 (シーン).....	42	操作音量.....	86
高速連写.....	60	測光方式.....	53
小顔フィルター.....	77		
コントラスト.....	65	<b>た</b>	
コンバージョンレンズ.....	101	タイトル画像追加.....	78
コンパスキャリブレーション.....	93	ダイヤル.....	14
コンパス入力撮影.....	94	太陽光 (ホワイトバランス).....	57
コンパス表示.....	93	ダイレクトキー.....	19
コンパス偏角補正.....	93	中央 (測光方式).....	53
		超解像.....	65
<b>さ</b>		調色.....	65
サーフ&スノー (シーン).....	42	著作権情報.....	98
再生.....	39, 67	著作権情報の添付.....	98
再生音量.....	86	追尾 (AF).....	51
再生設定メニュー.....	26	デジタル顕微鏡モード.....	40

デジタルズーム	39	ファイル連続 No.	97
デジタルフィルター	77	フィルター	77
手ぶれ補正	66	風景 (シーン)	42
手持ち夜景 (シーン)	42	フォーカスモード	50
テレビ	70	フォーマット	37
電源	35	フォルダー表示	67
電源ボタン長押し設定	35	フォルダ作成設定	95
電源ボタンランプ	35, 86	複数画像表示	67
動画	45	フラッシュ	55
動画分割	78	プログラムモード	40
動画編集	78	プロテクト	73
動画ボタン	20	分割 (測光方式)	53
動画メニュー	25	分割表示	67
同梱品	11	ベット (シーン)	42
動作環境	116	編集	75
ドライブモード	59	ポートレート (シーン)	42
トリミング	76	保管	121
曇天 (ホワイトバランス)	57	保護	73
		ボタン	14
		ホワイトバランス	57

## な

内蔵メモリー	32
ナチュラル (画像仕上)	64
日時設定	36
入力撮影	94
認証マーク	30

## は

バージョン情報	30
ハイスピードカメラ (シーン)	42
ハイライト補正	66
白熱灯 (ホワイトバランス)	58
パソコンと接続	74
発光禁止 (フラッシュ)	55
バッテリー	31, 33
花 (シーン)	42
花火 (シーン)	42
日陰 (ホワイトバランス)	57
被写界深度合成 (シーン)	42
日付写し込み	65
表示切り替え	18
ファイル番号リセット	98
ファイル復元	72
ファイル名変更設定	97

## ま

マーメイド (シーン)	42
マーメイドムービー (シーン)	42
マイク	46, 63
マクロ	50
マクロスタンド	11
マニュアル WB (ホワイトバランス)	58
マニュアルフォーカス	52
まばたき検出	38
マルチ (AF)	51
雅 (画像仕上)	64
無限遠 (フォーカス)	50
メニュー	22
メモリーカード	31
メモリー逆戻り連写	60
目的地	100
モノトーン (画像仕上)	64

## や

夜景 (シーン)	42
----------	----



## り

リサイズ .....	75
リバーサル (画像仕上) .....	64
リモコン .....	61
リングライト (ホワイトバランス) .....	58
リングライト .....	56
連続撮影 .....	60
ログの取得 .....	91
ログの破棄 .....	93
ログの保存 .....	93
露出補正 .....	44

## わ

ワールドタイム .....	100
ワイドコンバージョンレンズ .....	101

## ギャラリー・ショールーム

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

### リコーイメージングスクエア東京（修理受付可）

〒163-0690 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下1階）

ナビダイヤル 0570-006371（市内通話料金でご利用いただけます）

営業時間 10:30～18:30（火・水曜日、弊社休業日、ビル施設点検日を除く）

### リコーイメージングスクエア大阪（修理受付可）

〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前 1-7-31 OMMビル1階

ナビダイヤル 007996（市内通話料金でご利用いただけます）

営業時間 10:30～18:30（火・水曜日、弊社休業日、ビル施設点検日を除く）

## フォトスクール・写真クラブ

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公

**Pentax Ricoh  
Family Club**

募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。か、ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

### ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

〒163-0690 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下1階）

ナビダイヤル 0570-006371（市内通話料金でご利用いただけます）

営業時間 10:30～18:30（火・水曜日、弊社休業日、ビル施設点検日を除く）

## お困りのときは

本書の「困ったときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にご確認ください。

### ■お客様相談センター <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

ナビダイヤル 0570-001313（市内通話料金でご利用いただけます）

営業時間 10：00～17：00

休業日 日曜日、年末年始、弊社休業日、ビル施設点検日は休業

## 修理受付

### ■ホームページ／電話による修理受付

#### ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤル 0570-001301（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間 10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※このサービスは日本全国どこからでも電話一本で弊社指定の宅配業者が梱包資材を持ってお伺いし、故障した製品を梱包してお預かりのうえ、弊社修理拠点まで安全にお届けするサービス（無料）です。

インターネットからもお申し込みいただけます。

[http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair\\_entry-j.html](http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html)

#### 修理お問い合わせ窓口

ナビダイヤル 0570-005140（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間 10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

FAX 03-3775-8548

※都道府県別の修理品のご送付またはお持ち込み先につきましては、弊社ホームページでご確認いただけます。

[http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair\\_entry-j.html](http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html)

株式会社リコー  
〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6  
2021年5月

Jp

JA Printed in Indonesia



\* F 3 G H 1 9 5 1 \*